

daichi-sansyou

# 大地讃唱

せせらぎが聞こえる雄大な自然と  
ぬくもりある生活をこの一冊に込めて

2005  
遠賀町町勢要覧



1 音画ギャラリー

まるで音が聞こえてくるような美しい原風景。

6 大地讃唱1——水を讃えよ

遠賀が讃える水。  
壮大な遠賀川をめぐる様々な生活。

12 大地讃唱2——土を讃えよ

遠賀が讃える土。  
肥えた土から育まれる農業の移り変わり。

16 大地讃唱3——平野を讃えよ

遠賀が讃える平野。  
広大な平野を生かした土地利用。

20 遠賀のまち自慢

わたしたちのふるさと、遠賀町。  
ふるさとの地で輝く人々の活動インタビュー。

22 時を越え受け継がれる伝統の祭り

物言わぬ先人達のメッセージ

◎特集 島津・丸山古墳群

28 遠賀町——回想曲 40年のあゆみ

町制40周年を迎えた遠賀町。  
懐かしい生活のワンシーンを振り返る。

32 遠賀讃唱——行政施策

未来へ向けて歩みだした遠賀町。  
まちづくりの様々な取り組み概要。



daichi-sansyou

# 大地讚唱

水を讃え、  
土を讃え、  
平野を讃え、

ここに生きる  
人々の笑顔と  
暮らしを守ろう

せせらぎに  
耳を傾け、  
あたたかい  
日射しの中で、  
ともに手を取り合い  
幸せの歌を  
口ずさもう





遠賀町～



# 立おんが 音画ギャラリー

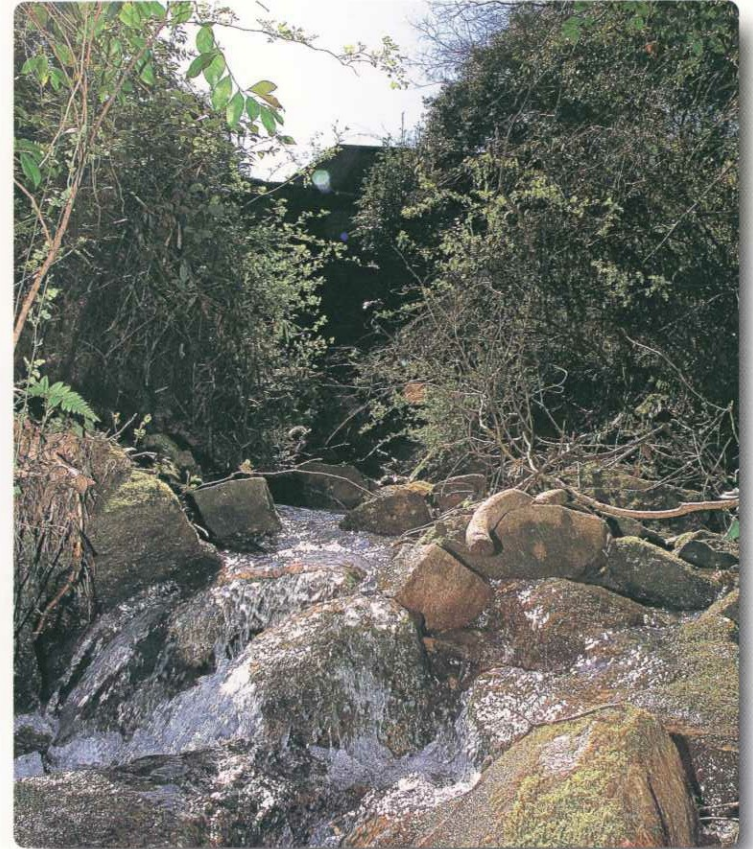
甘いモクセイの香りによって  
私の髪がなびきました  
駅の改札口を出た瞬間に感じる  
おだやかなときの流れ  
その中を、羽をつけた天使のように  
駆け抜ける子どもたち



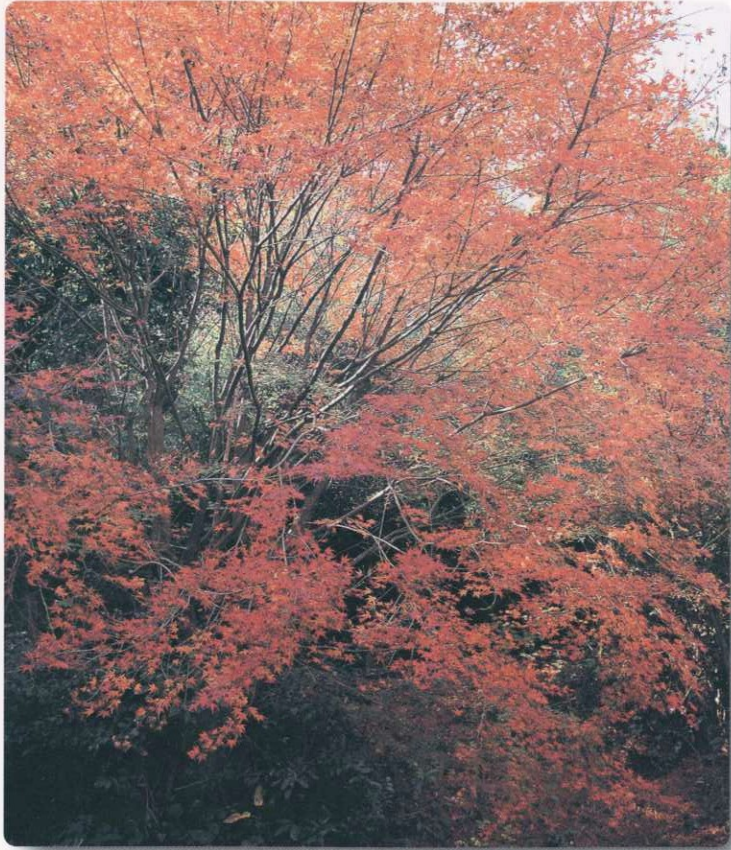
～音のある暮らし



母がまだ若いころ、私の手をひいて  
ふたりで歩いた川辺の道  
鳥の声や水の音が  
耳元でささやきました  
重なり合う水面のきらめきを見つめながら  
今日はひとりで歩きます



遠賀町～



のんびりとした中にも  
一生懸命にまちを支える人たちの笑顔  
みんなこのまちが大好きなんです  
あちらこちらから聞こえてくる笑い声やかけ声は  
人々の憩い、とこしえにと  
幸せの音を奏でています



～彩りのある暮らし





大地讃唱

1

Praisng Water

# 水を讃えよ



### 【まちと文化を繋ぐ大河・遠賀川】

一級河川遠賀川。全長61km。流域面積1,026km<sup>2</sup>。水源の福岡県嘉穂郡馬見山から飯塚市、直方市を貫流し、芦屋町で響灘に注ぎます。それぞれの地域に恵みを与え、人々の生活を支えてきたその姿は、威風堂々と流れています。



### 【水が与える安心感】

遠賀川はまちの象徴です。古くから人々はこの川存在に感謝をし、讃えてきました。水系の恵みはまちを支え、暮らしを見守ってきたのです。

## やすらぎを与える 雄大な遠賀川

遠賀のまちに広がる青い空、白い雲を川面に映し、大河は流れます。

その流れは遠賀町の産業に潤いを与え、人々に多くの実りをもたらしてきました。母なる大河として讃えられ、また、かけがえのない財産として、人々に守られつつけてきたのです。

流れが穏やかな遠賀川は、古くは水上交通が発達していました。流域の各地では水運を利用して石炭が採掘され、明治から大正にかけては国内最大級の産炭地として栄えます。遠賀川

は石炭輸送の大動脈として大きな役割を果たしていたのです。

大きな産業を生み出していた遠賀川ですが、浸水や洪水などの水害も相次ぎ、明治と昭和の2度の改修工事で行水されています。近年は自然と生物の環境に配慮した工事によって、川の安全が守られています。

現在は静かにたたずむ遠賀川。河川敷では鳥のさえずりや、ゆるやかな川の調べなど、自然の音が聞こえ、まちのやすらぎの源となっています。



## 遠賀川がもたらした さまざまな物語

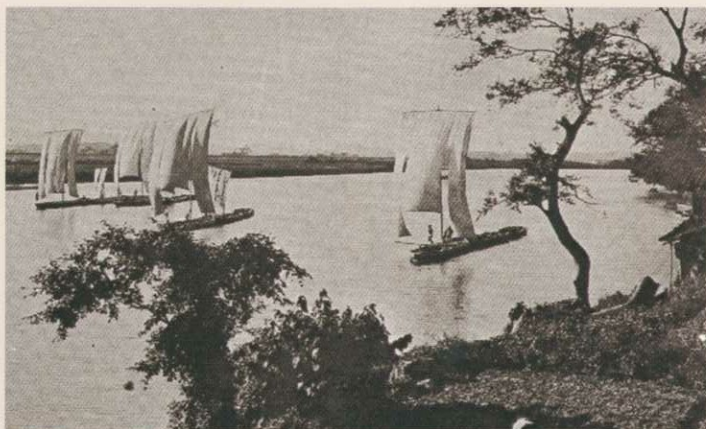
**遠** 賀川流域には、人々を時間旅行へと誘う古墳や歴史的遺産が多くあります。そこにあるのは太古の世界。遠賀川式土器や王塚古墳、島津・丸山古墳などがあり、水の恵みによって生まれた文明の礎を感じます。

時代とともに川は流れ、時の移ろいの中でさまざまな物語がありました。

遠賀川の周辺地域を穀倉地帯にした先駆者が黒田長政といわれています。長政は元和7年(1621)に水路の工事を行い、やがて水田が繁栄し、水上交通が発展しました。五平太船のよきな舟が活躍し、石炭や米、伊万里焼などが運ばれま

す。水運で生まれた豊かさは、人々の暮らしに文化の花を咲かせました。

多くの恵みをもたらした遠賀川ですが、一方で洪水が多発し、堤防の決壊が相次ぎました。嘉永3年(1850)、明治38年(1905)、そして昭和。とくに昭和28年の大洪水では、川の流域が古代の遠賀湾そのものだったといわれています。また、江戸時代からの渇水も大きな災いでした。昭和の遠賀川流域の開発や改修、中でも河口堰の完成はその集大成です。そして今日、遠賀の大河は新産業を生み出す水源として、讃えられています。



【遠賀川の姿】

かつては1日に何隻もの船が横切り、多くの人や物資が行き交いました。時代の流れとともに人々の生活が移りゆく中で、遠賀川は多くの文化を生み出してきました。

悠久の流れに沿って

# 遠賀川の 歴史を辿る





### 【遠賀川を渡る五平太船】

明治から大正時代、流域は国内最大の産炭地でした。年間100万tもの石炭を若松、芦屋に運んだ五平太船。遠賀川は石炭輸送の大動脈でした。



### 【水害の様子】

明治38年の洪水では石炭産業に大きな被害を及ぼしました。昭和28年の洪水では死者20人、流出や全壊の家屋39,744戸という大惨事になりました。



### 【遠賀川河口堰の完成】

増加する水需要に対応すべく、昭和55年に完成しました。以後「平地のダム」として、北部九州の水資源を支えています。



### 【遠賀川をつないだ橋】

船による石炭輸送が鉄道に変わり、やがて橋の建設が進められます。活躍していた五平太船も橋の開通で姿を消しました。





## 水が与えてくれる 安心とゆとりの生活

**水** 道の蛇口をひねれば  
水が出る。

私たちは、このことを生活の中でごくあたりまえのこととして受け止め、何ら不自由を感じていません。しかし、大規模な災害が起これば、ライフラインが寸断されれば、水の利用もできなくなってしまう。

私たちの命は水とともにあります。水は生命の源であり、なくてはならないもの。遠賀川の水もまた、まちのあらゆるものを潤し、浄化し、再生する力を与えています。



先人が行ってきた河川改修や堰の建設は、災害を防ぐために成し遂げられてきた偉業です。そうした功績によって、現在の安全な遠賀川の姿が生まれ、人々の暮らしを支えています。

遠賀町には河畔にたたくむ町立図書館や、人々が憩う様々なイベントがあります。川は人の心をいきいきとさせ、生活にゆとりを与えてくれます。そんな川がもたらす水は、大地と人を潤すかけがえのない恩恵。毎日何気なく触れている水は大切な財産なのです。



## 美しい川辺を残すために 遠賀川への恩返し

**炭** 鉱が最盛期だった昭和30年代まで、遠賀川は「黒い川」と呼ばれていたほど汚れていました。しかし、炭鉱の閉山によって、少しずつ本来の美しい川の姿によみがえります。その後は国土交通省が主体となる水質調査をはじめ、民間団体や行政機関の事業によって水質が改善され、今ではハゼなどたくさんのお魚たちが集まるようになり、川釣りを楽しむ人たちの姿がみられるようになりました。



いつまでも美しい遠賀川を残すため、まちでは、その他にも清掃活動や稚魚の放流などかかれません。川を大切にすること。それらは日常に恵みをもたらす川への恩返しにもなります。川辺で遊ぶ子どもたちの小さな手に、水のしずくが輝いています。遠賀川の未来は、水と親しむ子どもたちに守られているかのようです。また、資源を大切にしようという人々の気持ちは、遠賀川の明日を育んでいます。



大地讃唱  
2

Praising Soil

# 土を讃えよ

**陽**の光をたくさん浴びて育つ遠賀自慢の農産物。  
 お米、イチゴ、大根、キャベツ、フキ、トマト…、みんな遠賀町の風土が生かされたものばかり。はと麦茶やイチジクジャムなども加工品の自信作です。そのひとつひとつがみずみずしく、天然の色を帯びて、新鮮さがあふれています。それらはまるで、のんびりしていてもあたたい、遠賀に住む人の人柄が注ぎ込まれているかのようです。

## 豊かな大地が育む 実り多き産物

自分が住んでいる土地で作られた食べ物が最も口に合い、体にもやさしいと古くからいわれています。幼いころから親しみのある食べ物で、何よりも「おいしく食べられる」ことが、健康でいられるという考え方は。  
 人々の情熱や愛情が土にしみ込み、遠賀川の水の恵みと相まって育まれる郷土の恵み。それらは遠賀の大地にしっかりと根付き、私たちにおいしさと健康を与えているのです。

### 【ふれあい農園】

遠賀町では、町内外の人々に土に触れ、緑を感じる場を提供するため、ふれあい農園を整備しています。この農園で野菜作りとともに生きがいつくりもできればと期待しています。



### 【古くから発展していた稲作】

遠賀川や西川流域のよく肥えた土地と、豊かな水を背景に水田農業が行われてきました。北九州都市圏との結びつきの中で、農業形態も多角化しています。また、農業は自然環境を保持するという点からも、生産緑地として貴重な存在になつてきています。



### 【新鮮な野菜】

大地が育んだ遠賀自慢の野菜たち。おいしさたっぷりの食材です。





# 農業の進化を辿る



【双口壺（弥生時代前期）】

左右対称の幾何文様を貝殻で描いた大型の壺で、独自の器形です。片方の口が神様用に、他方が人用として農耕祭事の折に使われたのでしょうか。珍品中の珍品であり、優れた技術とセンスを持つ弥生の名工の作品です。



## 遠

賀町には弥生時代の人々が営んだ生活の跡が残っており、当時の農耕文化を知るための貴重な民俗資料として、後世に伝えられています。これまで、遠賀川式土器をはじめ、遺跡の発見が相次ぎ、遠賀川流域での農耕文化の変遷が明らかにされてきました。

北部九州では稲作技法のほかに、農耕具や水田・水路を造る土木技術などが大陸から伝わりました。稲作の発展によって、やがて村落が生まれ、社会が形成されるようになります。遠賀川流域では2万年前に人々が住み始め、遠賀川の豊かな水資源が大地を潤すという好環境のもと、農耕が発達しました。また、北部九州で発達した稲作は、弥生文化として東へと伝わり、日本列島は食糧を採取する時代から生産する時代へと歩んでいったのです。

平成13年度の資料によると、遠賀町では水稲の収穫量が2250トンあります。県全体で見れば1割ほどですが、販売農家としては県平均を上回っています。

## 遠賀川の恩恵の下で 培われてきた農業



農耕図屏風



**【旧農家の家】**

かやぶき屋根の旧農家の家は、釜戸や井戸など昔の生活様式に触れることができます。後世に伝える貴重な史料として、民俗資料館に併設しています。



**【遠賀町民俗資料館内観】**

「ふれあいの里」にある民俗資料館では、昔使われていた民具や珍しい出土土器などが展示されています。



**【農具の移り変わり】**

人々の生活を支えてきた農具。大陸からの新しい技術の伝来や、時代を超えて受け継がれてきた知恵や工夫によって、改良が重ねられました。生活に密着していた農具の変遷をたどれば、当時の暮らしぶりも浮き彫りになってきます。

**農**業、とくに稲作は昔から生活基盤であり、多くの農耕文化を生み出してきました。民俗資料である農具は、古代から近世・近代、そして現代に至るまでの、多くの文化を物語っています。

弥生時代は石や貝製の包丁で稲穂の刈り取りを行っていましたが、古墳時代から鉄鎌が普及します。脱穀では千歯こぎやからさお、明治時代には足踏み脱穀機が発明されました。また、唐箕で選別された籾は、籾すり機を使って籾殻を取り除き、玄米にしました。

現代では稲刈りから脱穀まで、コンバインによる作業です。コンバインで収穫された籾は乾燥後、昔と同じように籾すりが行われます。その収穫後の工程を全て担っているのが、カントリーエレベーターです。乾燥から保管・管理・籾すり・計量など、全て機械化されています。

かつて利用していた藁製品も大きく変遷しました。収穫後、乾燥した藁を高く積み上げていた光景は、冬の風物詩でもありました。



筑後や天草から手伝いを借りて行っていた頃の田植えの様子。

**先人の知恵とともに  
進化する農具**

**【農業体験授業】**

農業体験授業は後継者づくりの一環として、また、子どもたちに農業の楽しさを知ってもらおうという目的で行われています。



大地讃唱  
3

Praising Plain

# 平野を讃えよ

## 太陽光発電システム



### 【太陽光発電のしくみ】

屋根に取り付けた太陽電池モジュールで直流電力を発生させ、電力を供給する自家発電システムです。地球温暖化の原因になるCO<sup>2</sup>を発電中に排出しません。

太陽光発電を利用した図書館

# 遠賀町立図書館

## 『広大な平野を生かした土地利用』



遠賀川と並行する西川の  
広々とした流れ。その  
川沿いにたまたむ遠賀町立  
図書館のテラスでは、穏やかな  
川面を眺めながら読書をした  
り、友達とお話したり。そん  
なゆったりとしたひとときを  
楽しむことができます。

幼児のための「木ツブラ  
ンド」や開放的なウッドデッキ  
など、人々の憩いの場として  
も利用できるほか、環境にや  
さしい太陽光発電を採用して  
います。



笑顔と交流が生まれる心のオアシス

# ふれあいの里

毎日お越しになる方も  
いらつしやいますね。  
ここは、ただの福祉施設ではなく  
出逢いや活力が生まれる  
創造の場所なんです。



「ふれあいの里」は新し  
いライフスタイルと、  
生きがいがづくりを提供する場  
所として、平成6年にオーブ  
ンしました。ここは、盲導犬  
の入館もできるといいうやさし  
い配慮。生涯学習や健康づく  
りに励む人が多く、毎日訪れ  
る人もいます。

福祉施設のみとしてではな  
く、住民が気軽に利用できる  
場所であることが大きな魅力  
です。学習の場・活力の場・  
お湯と憩いの場の3つに分か  
れ、心身ともにリフレッシュ  
できます。



九州朝日レガッタの大会会場

# 遠賀川漕艇場

**お**だやかで広大な遠賀川の流れ。白熱した漕艇競技の躍動感が水上を駆け抜けます。ここ遠賀川漕艇場は、直線2千メートルに及ぶコースで、九州朝日レガッタの大会会場にもなっているほか、国体の競技会場、高校・大学の合宿の場としても使用されています。パワフルな町民レガッタは夏の風物詩となっています。



## 【レガッタについて】

イギリスで170年以上の歴史があるボート競技で、アテネオリンピックでは日本人クルーが決勝進出しました。イタリア・ベニスのゴンドラ競争が発祥です。



町内外問わず幅広く利用されています。スポーツがさかんな遠賀町になくてはならない多目的空間です。



# 遠賀総合運動公園

ニーズの高い大規模な運動公園

**遠**賀総合運動公園は心の豊かさを提供する複合施設として、健康とゆとりある生活をバックアップしています。

演劇や創作活動の拠点となるコミュニティセンター、ナイターも可能なグラウンド、体育センター、弓道場、町民の森、キャンプ場などがあります。文化・スポーツ・レクリエーションの幅広い分野で、人々のコミュニケーションが生まれています。



# 遠賀施設 ガイド



遠賀川郵便局  
遠賀川保育園  
西川  
町立図書館  
遠賀川交番  
遠賀町役場  
遠賀町中央公民館

Pick up 市街地拡大図

- 遠賀体育センター
- 遠賀コミュニティセンター
- 総合運動公園

JR遠賀川駅  
おんががわ  
遠賀川  
ONGAGAWA  
みずまき | えびつ

- ふれあいの里センター

● 豊前坊古墳群

町立遠賀霊園



わがまちの良さをもっと多くの人たちに伝えたい。

# 遠賀のまち自慢

自分が住んでいるまちがものすごく好き。そう思えるのって幸せなこと。もっといいまちにしたいから、みんな頑張るんですね。人、自然、地域…。思い思いのまち自慢。大切なわがまちを語っていただきました。



遠賀の語り人(中学生)  
おおぬきあきこ  
**大貫明子さん**  
大貫さんは遠賀南中学校2年生。大好きな遠賀町があいさつでいっぱいになればと願っています。クラブはバドミントンを頑張っています。

まちを  
元気なあいさつで  
いっぱいになります。

**遠賀**は人と人とのつながりが深いまちです。交通の便も良く、田んぼや畑の緑、豊かな遠賀川に囲まれていて…。とてもいいまちだと思います。でも、道路にタバコの吸いがらとかコンビニの袋など、さまざまなゴミが捨てられているのが悲しいです。ポイ捨てなんかしないで、きれいなまちになってほしいです。

私が通っている遠賀南中学校では、生徒会役員が中心になって朝のあいさつ運動をしています。みんながあいさつしているんです。あいさつをすることによって、学校全体が活気ついていると思います。

私は学校の中だけではなくて、遠賀のまち全体に「あいさつの輪」をひろげていきたいです。だから、これからは自分からあいさつをしていこうと思っています。周りでも、元気にあいさつしている人はたくさんいます。

遠賀町は本当にいいところ。これからも、このまちのいいところを守ってきたいなと思います。

**普** 及所の方に切り花の紹介をされたのがきっかけで農業を始めました。サボテンとかの苗木を植えるのも好きだったし、実際にやってみると楽しくて。それで農業を始めたいんですよ。丹精こめてまいた種が芽を出したときは感動します。あと、成長して出荷されるまでにはそれぞれの楽しみがあります。田植えや稲刈りの過程で計画と目標をたてて、達成したときの喜びも格別です。

今は外国産の農作物が増えてますよね。それに対抗

するには、コスト削減のほかに地域の特産品を作って、所得を安定させないといいません。都市型農業をめざして、付加価値の高い品目を生み出すのが私の夢なんです。

遠賀町は自然に恵まれています。田畑が環境保全にとても役立つていることを理解して、地域振興をしていかなければなりません。田畑が生みだすものはみんな食べ物になるんだから、地域の環境を大切にしないと。それが「共生」だと思います。



**農業を通じて地域振興をしていきたい。**

遠賀の語り人(農業)  
やまなか えいじ  
**山中英二さん**  
農業を始めて30年。JAおんがの花弁部会で育成されたクジャクソウの新種ミレニアムピンクを地域特産品として根ざせるよう頑張っています。



**いろいろな人とのふれあいが大切。**

遠賀の語り人(朗読ボランティア)  
たなか さちこ  
**田中幸子さん**  
「結(ゆい)の会」の会長を務める田中さん。朗読ボランティアという分野で、人々との幅の広くて深い交流を願っておられます。

**社** 会福祉協議会主催の朗読ボランティア養成講座を受講したのがきっかけで始めました。約20名のメンバーで、みんなそれぞれに目標があり、向上していこうと努力しています。和やかな交流の場になっていて、ほかの人たちの活動の話が聞けたりもします。子どもたちへの本の読み聞かせも楽しみです。

毎月10日と25日の2回発行される広報をテープに録音し、貸し出しています。ただそれを利用した人との接点がないので意見や要望

がきけないのが悩みです。「声の広報誌」としてもっと多くの方に利用していただけたらと思っています。

朗読ボランティアはずっと続けていきたいです。広報の録音だけではなく、目の不自由な方々や、字を読むのが困難な方々との交流の中で要望を聞いて、応えていけたらと思います。

「結の会」の活動を知っていたらこうと毎年9月に朗読発表会を開催しています。今年は5回目の節目の年としてよりよい物にしていきたいと思います。

**う** ちは代々、土木建設業をしています。昭和28年に遠賀川の堤防が決壊して大洪水になったとき、簡易水道の工事が行われました。私が中学を卒業したころのことです。うちの店が工事の指定業者になりましたが、それが仕事をやりだしたきっかけです。

やっぱり修繕工事などをしてお客さんが喜んでくださるのが一番うれしいです。団地の工事は工期が長くて大変でした。

これからの遠賀町では若

い人たちが発想豊かになって、いろんなことを考えていってほしいです。若い力でもっと多くの事業や企業を興してほしい。あと、下水道の整備も早く進めて、水質のいい環境に整えてほしいです。タナゴやメダカ、子どものころからそういつた生き物に触れられる環境にしてほしいですね。


「まちづくり」ってモラルが大切だと思います。住民がもっと積極的に「まちづくり」に参加してほしいと思います。

遠賀の語り人(商工会・管工事業)  
ふくだ ひでみ  
**福田秀實さん**  
環境整備、住民参加など、まちづくりの根本的な部分を見つめておられる福田さん。遠賀町の素朴なところが好きと話されます。

**水質のいい環境にしていきたいですね。**







空高らかに  
ドーン  
パラパラ  
遠賀の夜空に  
大きな  
夏の花が咲く



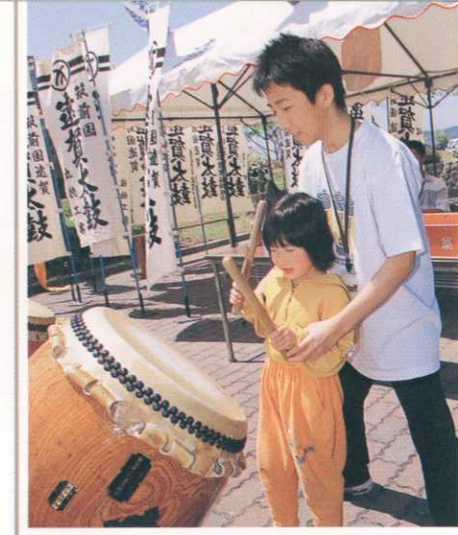
## おんがレガッタ

ボートの祭典「おんがレガッタ」は遠賀町の夏の風物詩です。チームワークが大切な競技と爽快な笑顔で盛り上がり、周囲の歓声が絶えません。



## 夏まつり盆踊り大会

飛び入り参加オーケラの総踊りや、趣向をこらしたアトラクションで毎年盛り上がっています。大輪の花火が飾るフィナーレは圧巻。



## 遠賀こどもまつり

「遠賀こどもまつり」はボランティアによる手作りのお祭りです。ゲームや食べ物コーナーなどで、笑顔いっぱいの日です。

# 時を越え受け継がれる伝統の祭事

The traditional festivals continued for over a long time.

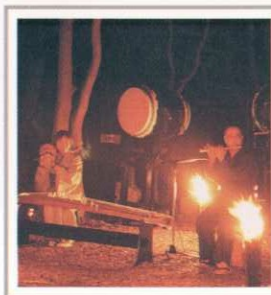
## 山笠

夏の厄除けと五穀豊穡を願って行われる昔ながらのお祭りです。ハチマキと揃いのハッピー姿で山笠を囲んで練り歩く姿は華麗で勇壮。



## 健康福祉まつり

「ふれあいの里」で開催され、演奏会や演劇、骨密度測定などの健康イベントで盛り上がっています。



## 古代の杜の観月コンサート雅

仲秋のころ、島津・丸山歴史自然公園で開催される和洋楽器の演奏会です。会場では手作りの行燈(あんどん)や松明が幻想の世界を演出します。



### 三十六歌仙

江戸時代末期の画家安藤菊圃が描いた大伴家持ら7人の歌人。菊圃が慶応2年(1866)に描いたという貴重な史料です。



### 堀川筋条目

堀川の通船にかかわる貴重な史料。明和2年(1765)以後、200年にわたって交わされた通船料や、郡奉行との取り決めなどの条目書です。

### 木造薬師如来座像

長楽寺の本尊。作者・製作年代は不明ですが、室町時代初期(1400年代)の作とされています。頭部から指先まで樟材の一本造りです。



### 細形銅鋒

岡垣町元松原所在の砂丘が削られた際に箱式石棺群から採集された副葬品の一部。出土は岡垣町ですが、所有者が遠賀町民で、町指定文化財としています。

### 上野良秀肖像画一幅

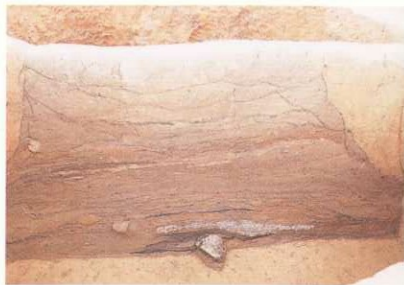
高家天満宮神官・上野良秀を安藤菊圃が描いた肖像画です。製作年は、慶応元年の銘が記されています。



## 物言わぬ先人達のメッセージ

The messages from our predecessors lived here over a long history.

14号貯蔵穴(慶ノ浦遺跡)



オニバス(蟹喰池)



鳥形瓶(尾崎・天神遺跡)



経筒(豊前坊経塚)



ヒスイ製まが玉(慶ノ浦遺跡)



川辺に生まれた  
多くの歴史遺産は  
わたしたちの  
暮らしの進化を  
ひっそりと見守っている

双口壺が出土した弥生時代の村、慶ノ浦遺跡

# 島津・丸山古墳群

「温故知新」。古き時代を訪ねることが、新しい時代をつくる手がかりを教えてくれる。歴史は眠ることなく今なお、遠賀の地に息づいている。



こうして、古代の空気を感じながら道ばたをゆけば、生きることの素晴らしさと伝えることの大切さに気づくことができる。

**遠** い昔、多くの人々がこの地で生活を営んでいた証。4世紀から7世紀にかけての古墳が、ここ遠賀町には百基ほども確認されています。

中でも遠賀町の北部に位置する島津・丸山古墳は、4世紀前半から中ごろにかけて造られた、遠賀川流域でも最古の前方後円墳と考えられており、古墳文化を知る上で重要な学術的価値を有するものとされています。

この古墳群の中で最も大きな丸山古墳は、前方部が極めて低く、撥形状に開き、後円部も前方部より極めて高いといった古式古墳の特色を備えた前方後円墳です。墳丘長57メートル、後円部の直径が30メートル、同高さが45メートルです。

また、丸山古墳の東方20メートル先には、辺長18メートルの方墳で、墳丘が葺石で覆われた丸山2号墳があります。丸山古墳に後続する前方後円墳が上別府の豊前坊1号墳で、全長が74メートル、遠賀川下流域では最大です。

このような、まちが誇る貴重な歴史文化財をただ保護するだけでなく、もっと多くの人々の目に触れ、新しい文化を見出せるようこれらの古墳を含めた周辺部約3万平方メートルを歴史自然公園として整備し、公開しています。

様々なイベントも行われており、肉や魚を葉でくるんで石で蒸す古代食や、野外での茶会などが人気を呼んでいます。中でも、9月に行われる「古代の森の観月コンサート雅」には毎年多くの人々が訪れ、古の世界へ誘うかのような美しい和洋楽器の演奏が秋の夜空に切なく鳴り響きます。

かつても、大勢の先人たちが同じようにこの地に身を寄せ、大地を踏み締め、空を仰いで明日を語り合ったかも知れません。わたしたちにできること。それは、歴史遺跡が語りかけるメッセージに耳を傾け、先人たちの生きた証に想いを馳せ、何かを感じ、そして学び、未来へと大切に語り継いでいくことなのです。



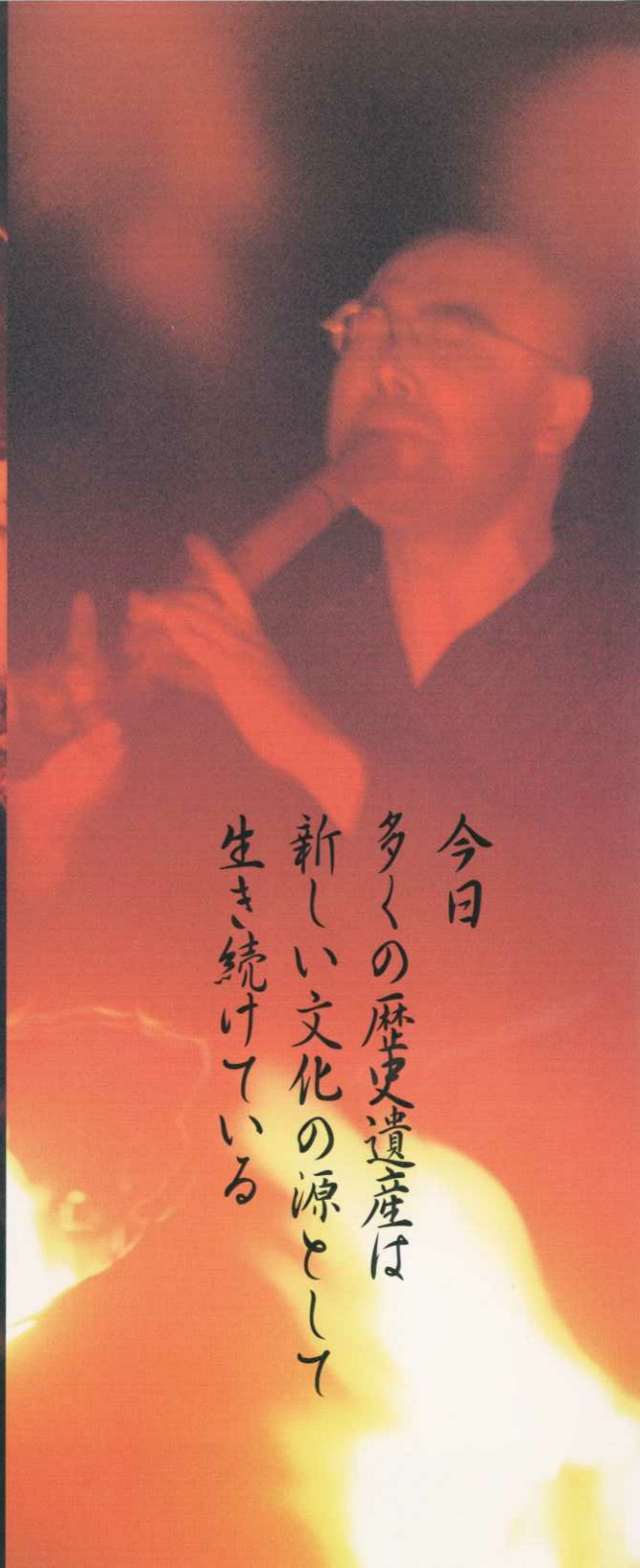
野点



古代食



豊前坊1・3号墳

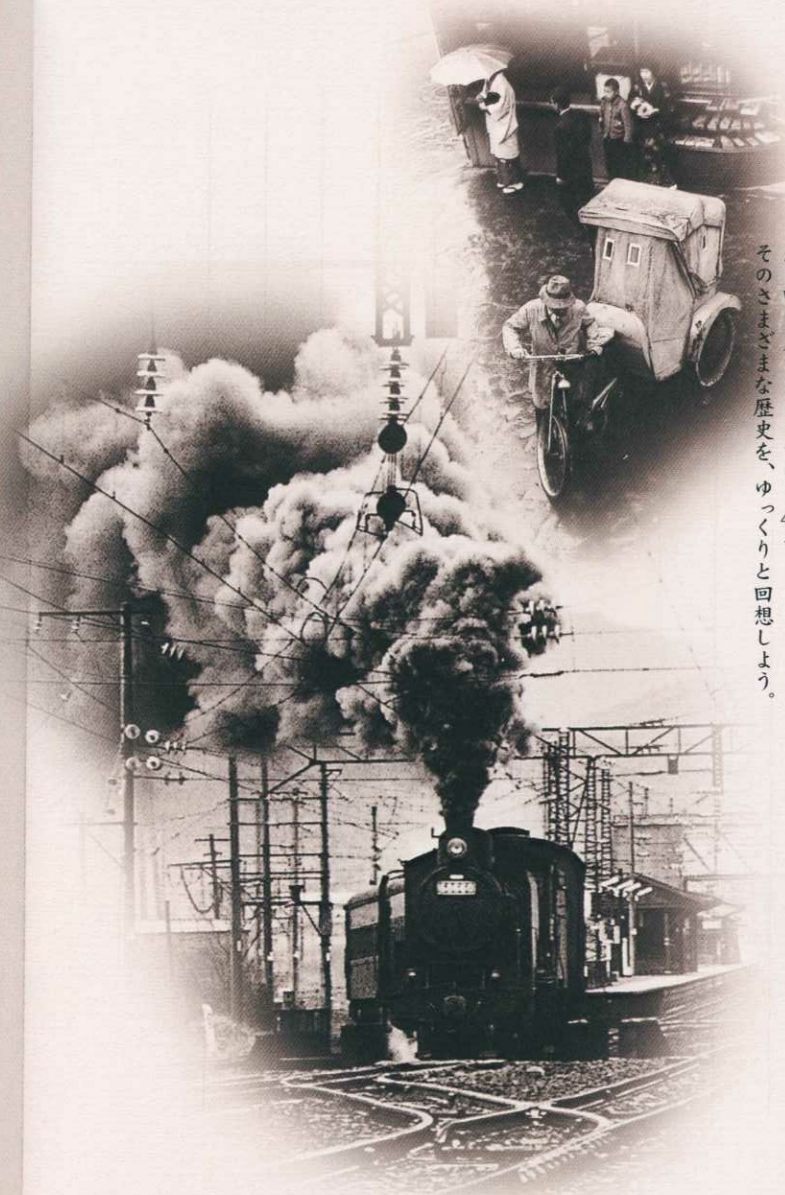


今日  
多くの歴史遺産は  
新しい文化の源として  
生き続けている



## 遠賀町——回想曲 40年のあゆみ

まちが積み重ねてきた歴史。  
そこには先人たちが一歩一歩、大地を踏みしめながら歩んできた道がある。  
遠賀町が産声をあげてから40年。  
そのさまざまな歴史を、ゆつくりと回想しよう。



# 遠賀町誕生。 新たな歩み。

昭和4年、島門村と浅木村が合併して遠賀村が発足しました。そして昭和39年、町村制施行により誕生した遠賀町。農業の振興と企業誘致で、飛躍的な発展をめざしました。北九州市近郊の都市として息吹を響かせながら、未来へ歩み出したのです。

1965



昭和40年に落成した島門小学校防音校舎。

1972



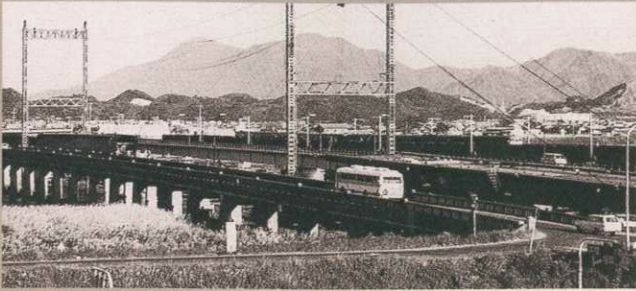
昭和47年、遠賀町庁舎の移築が完成。

1972



昭和47年に行われた献穀米納(畑生半一氏)。懐かしい衣装に身を包んで。

1974



昭和49年から国道3号遠賀バイパス片側二車線が開通。交通がスムーズになり、活気が生まれた。

1974



昭和49年に姿を消していったSL。現在でも機関車掃除をしながら、OB達が大切に保管している。

1975



昭和50年に落成した遠賀町中央公民館。住民の活動の場として潤っていった。

## 昭和39年

- 4月 ● 遠賀町町制施行
- 町全域にわたる国土調査事業開始
- 8月 ● 遠賀町戦没者慰霊塔落成

## 昭和40年

- 3月 ● 島門小学校防音校舎落成
- 8月 ● 遠賀中学校防音校舎建築始まる
- 10月 ● 第1回町民体育大会

## 昭和41年

- 2月 ● 農村集団電話開設(317戸加入)
- 町道友田線開通
- 3月 ● 有線放送施設完成(島津外9地区)
- 町北部(島津、若松、鬼津、尾崎地区)水道布設事業開始

## 昭和42年

- 9月 ● 遠賀中学校プール完成
- 12月 ● 遠賀町北部地区西鉄バス開通(折尾―海老津間)
- 4月 ● 遠賀中学校防音校舎落成
- 遠賀川駅前団地造成開始(民営)
- 8月 ● 浅木小学校防音校舎建築始まる
- 9月 ● 町道重広線開通
- 12月 ● 島門小学校講堂落成

## 昭和43年

- 3月 ● 西川潜水防除事業広渡排水機場完成
- 町北部(尾崎、鬼津)上水道事業開始
- 県道直方く芦屋線立体交差完成
- 5月 ● 遠賀郡農事センターが広渡に落成

## 昭和44年

- 3月 ● 浅木小学校防音校舎落成
- 4月 ● 町道山手線舗装事業開始
- 8月 ● 遠賀川自動電話交換局完成

## 昭和45年

- 3月 ● 旧停に「ははこぼし」完成
- 10月 ● 遠賀中学校講堂(改築)落成

## 昭和46年

- 2月 ● 島門小学校プール完成
- 3月 ● 鬼津地区学習等供用施設(公民館)落成
- 4月 ● 遠賀農芸高等学校上別府地区に移転、授業開始
- 5月 ● 国道3号遠賀バイパス建設開始
- 遠賀町水道事業中間水道に併合
- 6月 ● 遠賀郡農協本所庁舎落成
- 上別府花園ポンプ(移設)完成

## 昭和47年

- 3月 ● 尾崎地区学習等供用施設(公民館)落成
- 県道宮田く遠賀線立体交差完成
- 4月 ● 遠賀町章決まる
- 遠賀町庁舎(移転)落成
- 遠賀郡消防署落成
- 11月 ● 献穀米上納(畑生半一氏)

## 昭和48年

- 5月 ● 浅木小学校プール完成
- 鹿兒島本線の歩行者専用跨線橋「あけぼの橋」完成
- 6月 ● 虫生津排水ポンプ完成
- 1市4カ町火葬場(天生園)完成
- 11月 ● 島津地区公民館落成
- 12月 ● 都市計画用途地域の指定を受ける

## 昭和49年

- 1月 ● 国鉄室木線専用機関車SL姿消す
- 5月 ● 遠賀川郵便局(移築)落成
- 老人憩いの家落成
- 6月 ● 鞍手町・遠賀町水道組合解散
- 11月 ● 町制施行10周年を記念して多彩な記念行事開催
- 12月 ● 国道3号遠賀バイパス片側二車線開通

## 昭和50年

- 3月 ● 若松地区学習等供用施設(公民館)落成
- 9月 ● 遠賀町中央公民館落成

## 昭和51年

- 1月 ● 都市計画道路設計画決定
- 3月 ● 木守集会所落成
- 7月 ● 第1、第2道官橋完成
- 10月 ● 遠賀町民俗資料館開館
- 12月 ● 浅木簡易郵便局開局



# 激動の昭和と 平成の幕開け。

小・中学校校舎や体育館の相次ぐ落成と、河口堰の完成。教育や暮らしの環境がより充実しました。基盤整備や都市計画の数々がまちを活発にさせます。変遷のさなかで託された将来への希望は、より熱いものになりました。

1980



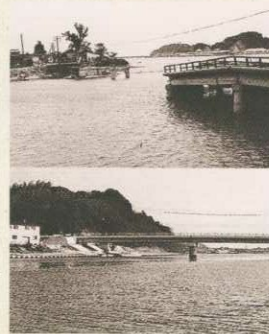
昭和49年4月に着工した遠賀川河口堰が、昭和55年ついに完成。人々の暮らしに安心と潤いをもたらした。

1981



昭和56年に落成した遠賀勤労者体育センター。健康な住民の暮らしを支える重要な施設となった。

1982



昭和57年に完成した島津橋。上は橋が架かる前。

1985



明治41年に開業した室木線も昭和60年に長い役目を終え、バスへの転換となった。生活に慣れ親しんでいた室木線の廃止を惜しみ、閉業イベントには多くの人々が集った。

1984



昭和59年に開催された、第1回水上カーニバル・いかだ競争。

1986



昭和61年に落成したコミュニティーセンター。

昭和52年

- 4月 ● 広渡小学校落成開校
- 給食センター落成
- 中学校学校給食開始
- 8月 ● 広渡小学校プール完成
- 11月 ● 遠賀町土地開発公社設立

昭和53年

- 1月 ● 広渡小学校体育館落成
- 3月 ● 別府集会所落成
- 7月 ● 広渡小学校ナイター施設完成
- 11月 ● 広渡地区学習等供用施設（公民館）落成
- 今古賀地区学習等供用施設（公民館）落成

昭和54年

- 4月 ● 浅木小学校校舎（増築）落成
- 第1武道場落成
- 西町町営住宅落成
- 道官集会所落成
- 遠賀・中間地域広域行政事務組合発足
- 6月 ● 町営遠賀公園オープン
- 島門小学校校舎（新築）落成

昭和55年

- 3月 ● 遠賀中学校校舎（増築）落成
- 遠賀川河口堰（昭和49年4月着工）完成
- 木守地区学習等供用施設（公民館）落成
- 4月 ● 遠賀静光園（移転）落成
- 曲手排水機場完成
- 前川排水機場完成

昭和56年

- 3月 ● 浅木小学校体育館（新築）落成
- 島門小学校校舎（増築）落成
- 第2武道場開設
- 4月 ● 休日急病センター落成（水巻町）
- 6月 ● 尾倉配水池（上水道）完成
- 7月 ● 遠賀勤労者体育センター落成

昭和57年

- 3月 ● 老良地区公民館落成
- 7月 ● 北九州市外局番統一化
- 島津橋完成
- 11月 ● 木守橋完成

昭和58年

- 5月 ● 馬頭岳ハイキングコース完成
- 9月 ● 遠賀子どもまつり始まる

昭和59年

- 2月 ● 遠賀総合運動公園グラウンド完成
- 3月 ● 遠賀総合運動公園ナイター施設完成
- 4月 ● 遠賀南中学校落成開校
- 遠賀総合運動公園内テニス場完成
- 5月 ● 第31回九州朝日レガッタ（千メートルコース）開催
- 8月 ● 水上カーニバル・いかだ競争始まる
- 町制施行20周年記念式典開催
- 遠賀南中学校体育館・武道場落成
- 10月 ● 西鉄バス芦屋線路線変更（遠賀川駅→松ノ本經由芦屋行）
- 11月 ● 弓道場落成

昭和60年

- 3月 ● 室木線（明治41年6月30日開業）廃止、バス転換
- 5月 ● JR遠賀川駅東側2階建駐輪場完成
- 8月 ● 馬頭岳展望台完成
- 11月 ● 花園橋完成

昭和61年

- 3月 ● 第37回福岡県植樹祭開催（町民の森）
- 5月 ● アスレチック公園（浅木）完成
- 6月 ● 遠賀コミュニティーセンター落成
- 遠賀川漕艇場完成
- 12月 ● 前川改修工事完了記念碑建立

昭和62年

- 3月 ● 中央公民館図書室新装オープン
- 「茶の水」の井戸復元（上別府）
- 7月 ● 遠賀総合運動公園内ナイターバットゴルフ場完成

昭和63年

- 4月 ● 広報おんがB5版からA4版へ
- 田園区誕生

# まちの躍動と 未来への展望。

充実していく総合運動公園、太陽光発電の町立図書館。いつもそばにあるたおやかな遠賀川の流れ。その大河のように、ゆったりと堂々と時を刻む遠賀のまち。町制40年。先人の夢、これからの夢を未来へと語り継ぐ想い、新たに。

1989



平成元年にスタートした「おながふれあい釣り大会」。

1994



平成6年8月の遠賀川洪水。川底が広大に顔を出している。

2001



平成13年にオープンしたデザイン性あふれる町立図書館。

2004



平成16年に行われたとびうめ国文祭。歴史公園を中心に、古代の文化にふれるイベントや展示などが行われた。

1995



平成7年に落成した島津しょうぶ池。季節になると美しい菖蒲の花で彩られる。

1990



平成2年のとびうめ国体（夏季大会）遠賀川にて盛大なセレモニー。

平成元年  
11月 ● 遠賀町民体育館落成

3月 ● 鬼津堰（戸切川）完成

● 尾崎土地改良事業（5・1ヘクタール）竣工

5月 ● 「おなが地鶏」高齢者いきがい対策事業スタート

7月 ● 国体リハール大会開催（遠賀川漕艇場）

8月 ● 遠賀総合運動公園内相撲場完成

11月 ● おながふれあい釣り大会始まる

● 日本漕艇協会「B級コース」認定

平成2年

1月 ● 「女性モニター」制度スタート

4月 ● 合併処理浄化槽設置補助制度スタート

5月 ● 天神遺跡発掘調査開始

9月 ● とびうめ国体夏季大会開催（遠賀川漕艇場）

10月 ● 第2期遠賀霊園竣工

平成3年

2月 ● 庁舎電算化スタート

5月 ● JR遠賀川駅西側駐輪場完成

6月 ● 西川橋が架替のため取り壊し（昭和4年6月〜）

9月 ● 水上カーニバル・町民レガッタ始まる

10月 ● 老良農村広場完成

平成4年

1月 ● 遠賀・中間広域行政事務組合新庁舎にて業務開始

6月 ● 豊前坊経塚・豊前坊古墳発掘調査開始

9月 ● 第3次遠賀町総合計画策定

● 遠賀北部土地改良区設立・事業着工

● 学校週5日制スタート

10月 ● 聖人式始まる

平成5年

2月 ● 中間・西川橋完成

3月 ● 出会いの架け橋完成

4月 ● 校区変更（島門小学校区の一部が広渡小学校区に変更）

● 田園区を分区分（田園北・田園南区）

平成6年

3月 ● 虫生津土地改良事業（5・5ヘクタール）竣工

4月 ● 町制施行30周年

11月 ● ふれあいの里オープン

4月 ● 東町、西町が合併して緑ヶ丘区になる

7月 ● 遠賀川下流域域公共下水道事業に着工

8月 ● 島津・丸山歴史自然公園オープン

平成9年

7月 ● 遠賀町庁舎増改築完了

9月 ● 老良地区農業集落排水施設通水式

4月 ● ふれあいの里研修センターオープン

● 遠賀町シルバー人材センター設立

11月 ● ふれあいの里民俗資料館オープン

2月 ● 高家土地改良区設立・事業着工

3月 ● 名誉町民三原朝雄氏町葬

7月 ● 遠賀町立図書館オープン

11月 ● 第1次住居表示実施（松の本）

平成14年

3月 ● 第4次遠賀町総合計画策定

8月 ● 住民基本台帳ネットワークシステム第1次サイ

ビス開始

11月 ● 第2次住居表示実施（遠賀川・旧停・広渡）

平成15年

3月 ● 遠賀町シルバー人材センター新事務所完成

4月 ● 西鉄バス芦屋線廃止（祇園崎・堤防・遠賀川橋）

7月 ● 遠賀郡4町合併協議会発足

8月 ● 遠賀川下流浄化センター通水式

● 住民基本台帳ネットワークシステム第2次サイ

ビス開始

11月 ● 第3次住居表示実施（浅木・芙蓉・若葉台）

4月 ● 町制施行40周年

● 遠賀町国際交流協会発足

8月 ● JR遠賀川駅前広場整備事業着工

10月 ● 遠賀郡4町合併協議会解散



大地讚唱  
4

The Praises of Onga

# 遠賀讚唱

行政施策

遠賀町の将来像

# の〜んびい遠賀

～豊かな故郷をめざして～

水と緑につつまれた  
のどかなまち

人々が安心して  
快適に暮らすまち

ふれあい豊かに  
人がかがやくまち

1 自然を活用した  
ゆとりを感じる都市基盤の整備

2 安全と快適性をもたらす  
生活環境の整備

3 安心して、はつらつと生活できる  
福祉のまちづくり

4 豊かな感性を育む  
生涯学習の推進

5 暮らしと調和した  
産業の振興

6 開かれたまちづくり

**福** 岡市と北九州市のほぼ中心に位置している遠賀町。

その地理的な条件から、ベッドタウンとして発展してきました。人が住む場所、憩う場所、安らぐ場所として発展し、現在は「の〜んびい遠賀・豊かな故郷をめざして」という将来像を掲げています。

悠久の遠賀川、くつろぎの田園風景、ゆとりの生活空間。そんな遠賀町らしさを活かすための将来像を掲げ、自然の活用や暮らしやすさを求めています。

のどかなで美しい街並み、生活の利便性や快適性、豊かなコミュニティ空間、これらを育むことによって、いつまでも住み続けたい…。そんな想いであふれています。





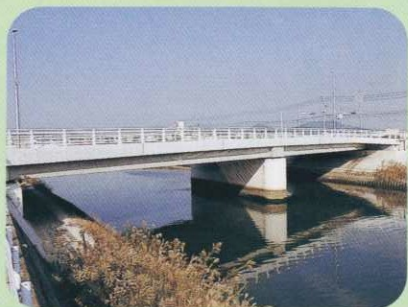
下水道整備



出会うのかけ橋



恐竜公園



新木守橋



町営住宅

## 自然を活用したゆとりを 感じる都市基盤の整備

遠賀平野という広大な土地を利用して、人々が豊かな居住環境を維持できるように努めています。北九州市のベッドタウンとしての性格が強まってきたことを踏まえ、町営住宅の建設や、適正な土地利用を進めています。また、まちの中心部における有効な土地利用も行っています。その一つとして、遠賀川駅前広場の整備では交通混雑の緩和を図り、まちの玄関にふさわしい駅前広場に生まれ変わります。県道浜口・遠賀線沿線での商

業・サービス業の誘致、区画整理事業なども推進しています。

忘れてはならないのが自然。遠賀町の豊富な森林は、水源を育み、土砂災害の防止や美しい景観の保持などに、大切な役割を果たしています。森林の保護や河川の整備によって、人にやさしい環境づくりに取り組んでいます。また、61カ所に及ぶ公園の設置、水路を利用した親水公園の整備や、緑化運動によって、住民が自然とふれあえる環境を整えています。

# 都市基盤



消防署員



遠賀市街地



ゴミ収集



総合グラウンド



公園の風景

## 安全と快適性をもたらし 生活環境の整備

人々が安全で快適に生活するためにも、上下水道の整備は重要です。上下水道の浄水能力を高めるために節水意識の啓発、上流域にある自治体と協力しながら、安全な水の供給に努めています。住民からの強い望みでもある下水道整備では、公共水道事業や農業集落排水事業、合併処理浄化槽の設置を進め、普及・改善を図っています。近年、多くの都市で、ごみの分別回収やリサイクル運動が推進されてきています。

また、安全で安心して生活できるまちづくりとして、消防力の強化・救急体制の整備・防災訓練の実施支援を進めています。初期消火に威力を発揮する消防タンク車の導入や、住民を対象にした防火・救命講習を積極的に推進します。

遠賀町ではごみの減量化活動に加え、コンポストも普及しています。これらを通して、大切な資源を保持するとともに、環境に対する意識の高揚を図っています。

# 生活環境



住民健診



ふれあいの里 (トレーニング室)



プレ・パバママ教室



シルバー人材センター会員の仕事風景



ワッハッハ教室

## 安心して、はつらつと生活 できる福祉のまちづくり

**児** 童福祉の面では、子どもを安心して育てられる環境を整えています。親同士が交流・相談できる場として、子育て相談室の「わらびい」や「わんぱく教室」があります。また、「プレ・パバママ教室」では赤ちゃんの人形を使って、お風呂の入れ方の講習などを行い、子育てを支援しています。

高齢者福祉では、ふれあいの里を拠点にした高齢者サービスや生活支援の場を充実させています。毎日を健康に生活するための支援として「ワッハッハ教室」があり、骨折の予防・生活の改善・運動の指導を行っています。

遠賀町では「ユニバーサルデザイン」の考えに基づいて、福祉のまちづくりを計画しました。障害を持つ人はもちろん、すべての人が生活しやすいように配慮した環境・建物・製品をデザインする事業です。ソフト・ハード両方の面でのバリアフリー化を図り、遠賀町全域がひとにやさしい福祉のまちになるよう推進しています。

# 福祉



人権学習



運動会



通学合宿



ALT学習



公民館サークル活動

## 豊かな感性を育む 生涯学習の推進

いつの時代でも、まちの将来を担う子どもたちが健やかに成長し、学習できる環境を提供していくかねばなりません。「ゆとり」の中で子どもたちが自ら学び、自ら考えることを通じて「生きる力」を育めるよう、学校・家庭・地域が連携した教育環境の充実を図っています。

「いつでも、どこでも、誰でも楽しく学べる生涯学習社会」という計画のもと、住民主体による取り組みを進めています。就学前から青年期までの学習ニーズを

把握しながら、ボランティア活動・まちづくり講座・イベントの実施などにより、コミュニティの活性化を図っています。近年では「遠賀町国際交流協会」が発足し、外国文化との交流も深めています。

また、誰もが継続的にスポーツに親しめる総合型地域スポーツクラブの設置を検討しています。文化面では「文化ふれあい事業」を進め、「遠賀太鼓」のような地域文化の保護と、住民の文化意識の向上を図っています。

# 生涯学習





フキ栽培



『遠賀の雫』



稲作



JA遠賀の野菜直売所



ファームガーデニング

# 産 業

## 暮らしと調和した 産業の振興

**遠** 賀町は古くより、福岡県北部有数の田園地帯を形成し、発展してきました。最近では、トマトやいちごなどの施設園芸に取り組む農家も増えてきています。遠賀町ではこういった基幹産業である農業の振興を図っています。

農業での就業の場確保だけでなく、施設の整備や経営規模の拡大、組織の育成に努めるなど、産業としての活性化に努めています。農業の振興はまちの活性化につながるほか、美しい景観の保全・形成など、多岐

に亘る機能を果たすことが考えられます。また、今後の発展と後継者問題を踏まえ、農業祭や子どもたちの農業体験などを通して、身近にふれあえる機会の提供に努めています。

生活の利便性を支える商業やサービスの振興も大きな施策です。遠賀川駅前や県道沿いで商業施設を集積させ、まちの活性化を図っています。

また、雇用促進の面においても優良企業などの誘致を行い、地域経済の潤いをめざしています。



議会風景



左より副議長、議長



庁舎全景



庁舎窓口



前列左より助役、町長  
後列左より収入役、教育長

## 開かれたまちづくり

**遠** 賀町ではつねに住民主体のまちづくりに努めています。住民への情報の公開・交換をもとに、住民のニーズに合った施策の立案を展開しています。

「広報おんが」やホームページによる広報活動とともに「おんがご意見箱」の設置、「町長への手紙」で公聴活動も充実させています。

住民アンケートによれば、ボランティア活動への参加意欲が高くなっています。それを踏まえ、NPOやボランティア団体の支援・連携を図り、環境美化

や福祉などの多様な分野で住民と行政が一体となった活動を進めています。

国際交流の展開においては、外国人教師（ALT）の採用や、ニュージーランドとのホームステイにより、心がふれあう国際交流を展開しています。

住民一人ひとりが平等に暮らせる社会の確立として、人権問題の啓発活動を行っています。男女共同参画社会の実現に向けては、女性を町役場の各種委員へ積極的に登用するなど、女性が活躍できる場を拡充しています。

# 議会行政

## 町勢要覧発刊に向けて



遠賀町は昭和39年4月に町制を施行し、今年で40周年を迎えました。

私たちのまち遠賀町は、大河遠賀川に恵みを受け、悠久の歴史の中に発展してきました。農村の豊かさと都市機能を兼ね備えたまちをめざし、ご尽力いただいた多くの諸先輩方に心から感謝を申し上げます。

町制40周年を迎え、今、時代は大きく変わろうとしています。地方分権・少子高齢化・高度情報化などにより、住民の皆さまの生活形態も多様化し、ものの豊かさの繁栄の時代から、心の豊かさが求められる時代へと移行してまいりました。遠賀町の歴史は、ここに住み暮らした住民の皆さまの積み重ねられた時間です。

本冊子は、遠賀町のまちづくりを広く紹介するために作成いたしました。

この要覧を通して、これから本町のあるべき姿を想像していただければ幸いです。

遠賀町長 木村隆治

# Onga-Information



## 遠賀町へのアクセス

北九州都心まで直線で18km、福岡都心までは38kmの位置にあります。町の中央を東西に国道3号、JR鹿児島本線が走り、JRで博多まで約1時間、小倉まで30分の距離。北九州市、福岡市への交通の要所となっています。



町章



シンボルマーク



町木：モクセイ



町花：スイセン

## 町名の由来

現在の「遠賀」という地名の由来は、古くは日本書紀に詠まれた「岡県・岡水門」、万葉集の「水茎の岡の水門」に通じるものと思われまます。これらはいずれも昔屋町付近を示し、昔屋町には岡湊神社があることなどから、これらの「岡」が奈良時代の和銅6年から次第に「遠賀」と2文字で表され、次第に「おか」↓「おんが」と読むようになつたといわれています。

## 町民憲章

わたしたちは、  
農村のゆとりと都市の活力を  
あわせもつ  
豊かなまちづくりをめざし、  
次の目標を定めます。

- 一、水と緑と伝統を生かし、  
文化の香りを高めます
- 二、ふれあいを大切にし、  
明るいまちをつくりまます
- 二、仲間の輪をひろげ、  
生活を創り楽しむまちにします
- 二、みんなで、住みたくなる  
まちづくりにつとめます

## 町歌

作詞／小役丸久雄  
作曲／加藤 英二

- 一、豊かなる遠賀の大地  
緑濃く  
恵の町はほのほのと  
希望に  
希望に  
健やかに 爽やかに  
やすらぎの町 遠賀町
- 二、響灘 潮騒近く  
風薫る  
理想の町は 生き生きと  
光に  
光に 映える  
和やかに 爽やかに  
語らいの町 遠賀町
- 三、大いなる 遠賀の流れ  
限りなく  
我らの町は 洗刺と  
未来に  
未来に 翔ける  
晴れやかに 爽やかに  
ふるさとの町 遠賀町

# 大地讃唱 daichi-sansyou

発行 福岡県 遠賀町  
福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀513  
TEL/093-293-1234 FAX/093-293-0806  
URL/<http://www.town.onga.fukuoka.jp>  
編集 遠賀町役場 企画課  
制作 (株)ジャパンインターナショナル総合研究所

*Data Book*  
**数字で見る遠賀町**  
*2005*  
【遠賀町統計資料編】

02 土地・気象

03 人口

05 産業

09 生活環境

13 福祉・医療

16 教育

17 財政

19 行政

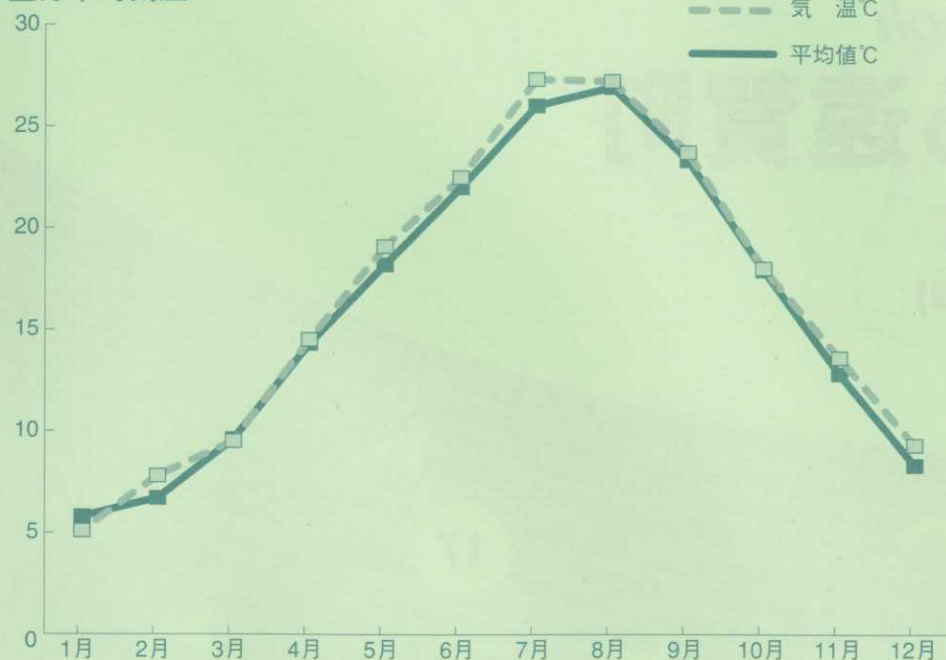
## ■土地利用状況

各年1月1日現在

	総数(千m <sup>2</sup> )	田(千m <sup>2</sup> )	畑(千m <sup>2</sup> )	宅地(千m <sup>2</sup> )	山林(千m <sup>2</sup> )	池沼(千m <sup>2</sup> )	原野(千m <sup>2</sup> )	雑種地(千m <sup>2</sup> )	その他(千m <sup>2</sup> )
平成11年度	22,140	6,754	909	3,213	3,915	12	276	1,986	5,075
平成12年度	22,140	6,734	901	3,232	3,911	12	276	1,991	5,083
平成13年度	22,140	6,715	893	3,249	3,894	9	274	2,000	5,106
平成14年度	22,140	6,695	891	3,274	3,892	9	271	1,997	5,111
平成15年度	22,140	6,677	890	3,296	3,888	17	271	1,990	5,111
構成比(%)	100	30.2	4.0	14.9	17.6	0.1	1.2	9.0	23.0

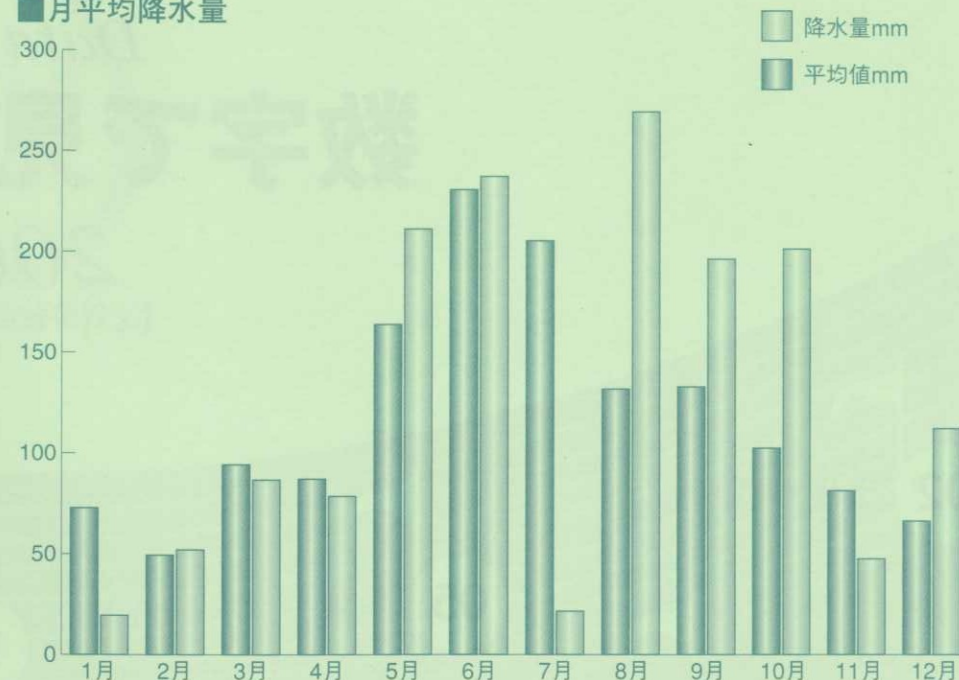
資料：固定資産概要調査

## ■月平均気温



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H16 気温(°C)	5.1	7.8	9.5	14.5	19.1	22.5	27.3	27.2	23.7	18.0	13.6	9.3
H12~H16平均値(°C)	5.8	6.7	9.6	14.3	18.2	22.0	26.0	26.9	23.3	17.9	12.8	8.3

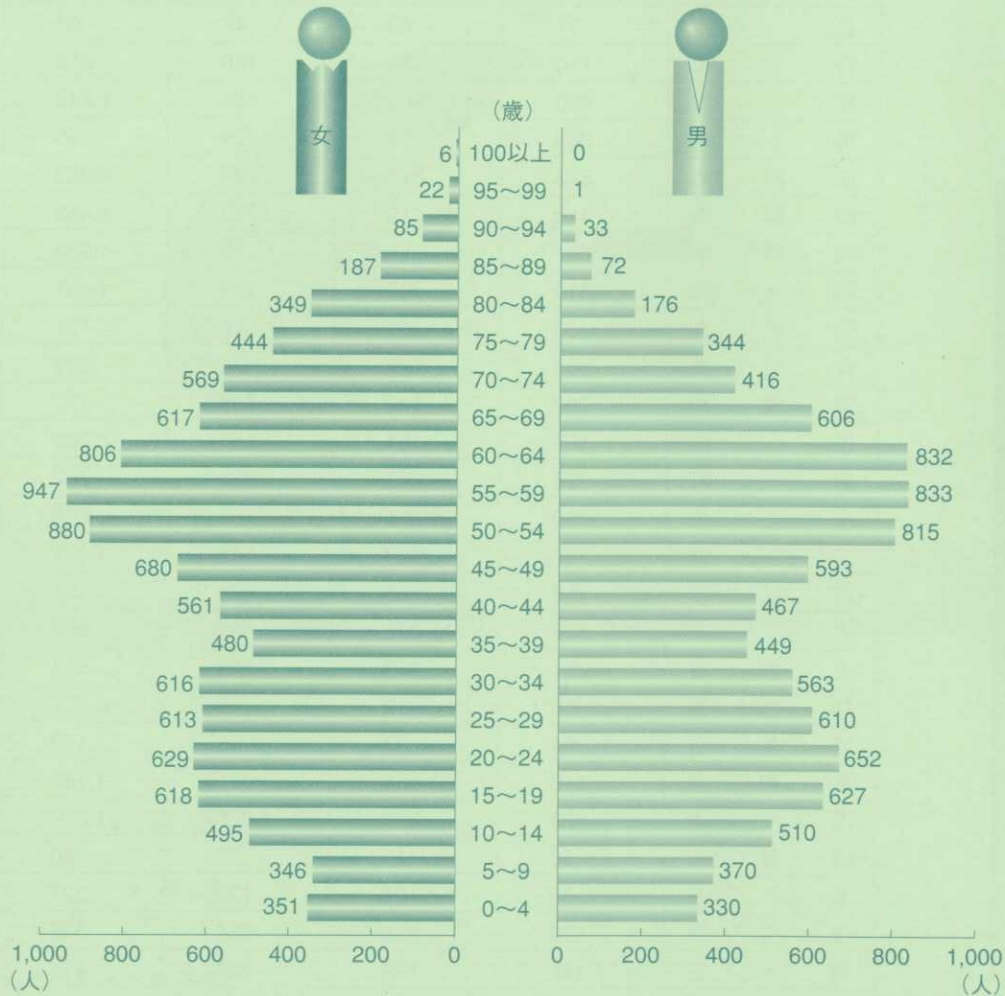
## ■月平均降水量



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H16 降水量(mm)	19.5	52.0	86.6	78.5	211.0	237.0	21.5	269.0	196.0	201.0	47.5	112.0
H12~H16平均値(mm)	72.8	49.4	94.2	87.1	163.7	230.5	205.1	131.6	132.7	102.3	81.2	66.2

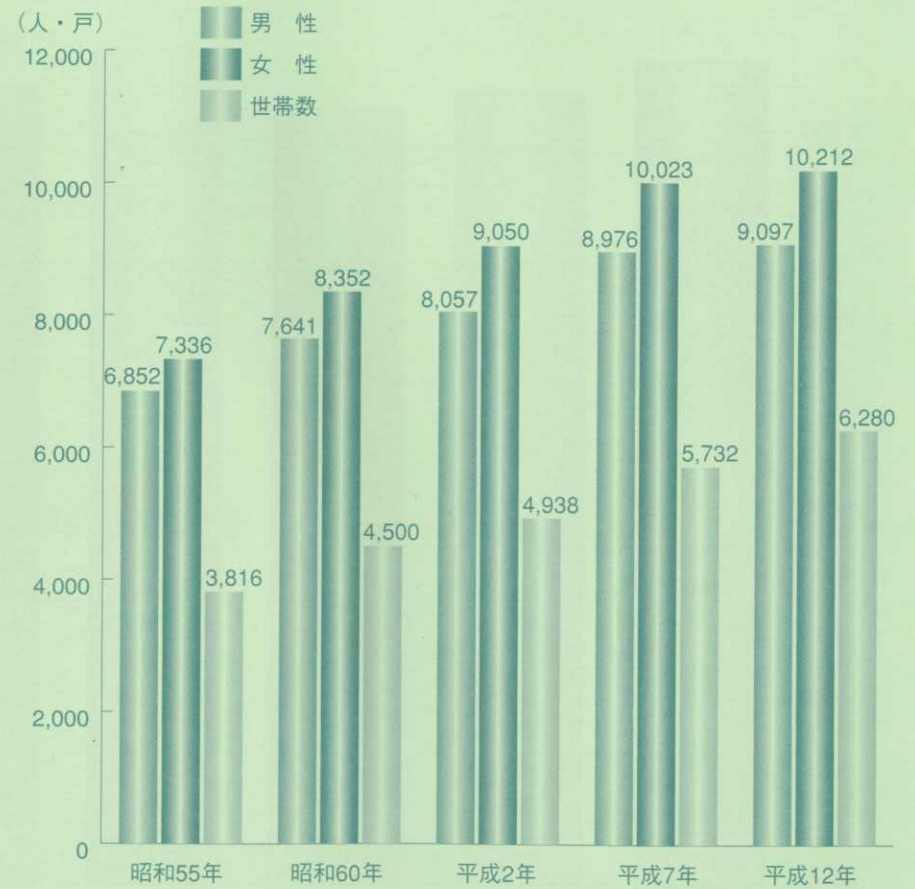
# 人口

■男女年齢別人口 平成17年1月1日現在



女性：10,301人	合計：19,600人	男性：9,299人
------------	------------	-----------

■人口の推移



資料：国勢調査



### ■人口動態



資料：住民課

### ■遠賀町住民登録人口・世帯数調

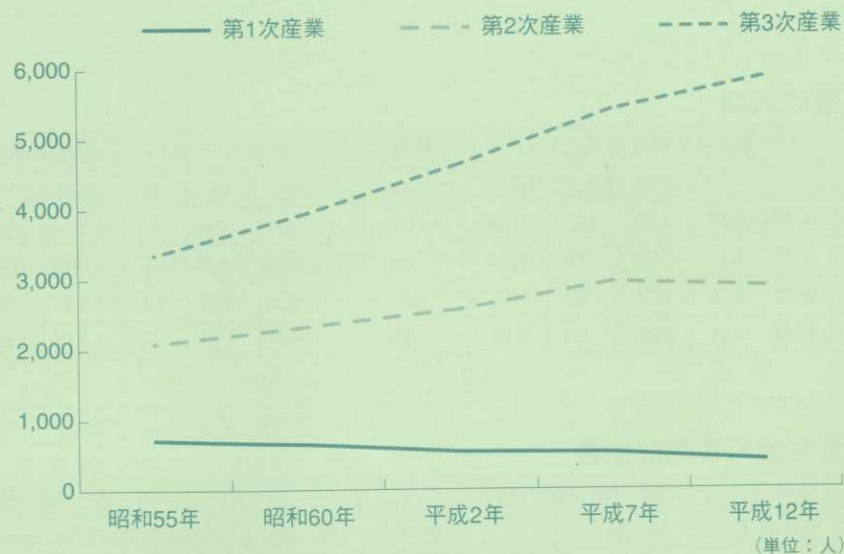
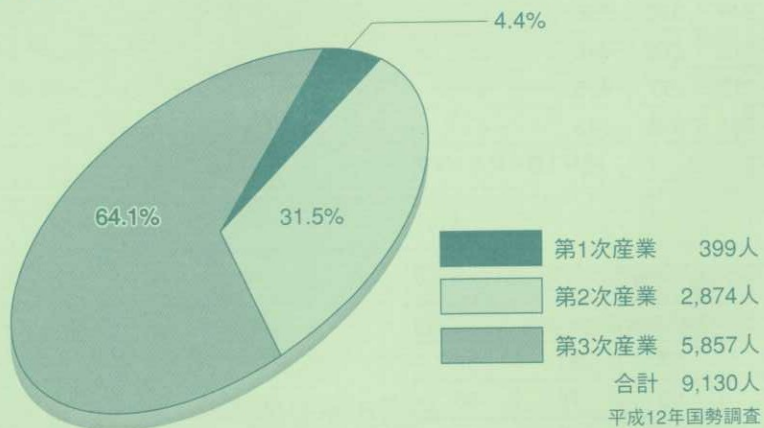
平成17年1月1日現在

		世帯数	男	女	男女合計	
島	津	31	49	48	97	
若	松	110	155	160	315	
鬼	津	400	563	680	1,243	
尾	崎	260	366	424	790	
田	園	北	383	611	647	1,258
田	園	南	419	710	742	1,452
松	の	本	687	955	1,029	1,984
別	府		510	702	749	1,451
千	代	丸	53	61	70	131
今	古	賀	363	444	476	920
遠	賀	川	289	343	389	732
旧	停		129	154	155	309
新	町		328	351	431	782
中	央		189	238	265	503
広	渡		369	523	568	1,091
道	官		53	55	73	128
木	守		313	473	499	972
上	別	府	271	369	445	814
静	光	園	56	12	45	57
若	葉	台	54	93	86	179
東	和	苑	413	564	621	1,185
浅	木		423	609	670	1,279
遠	賀	園	50	11	39	50
老	良		80	107	120	227
虫	生	津	183	236	264	500
緑	ヶ	丘	189	194	220	414
芙	蓉		239	351	386	737
合	計	6,844	9,299	10,301	19,600	

資料：住民基本台帳

# 産業

## 産業別就業者数



	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
第1次産業	714	650	535	518	399
第2次産業	2,090	2,328	2,562	2,952	2,874
第3次産業	3,352	3,947	4,631	5,406	5,857

資料：国勢調査

## 産業別事業所数・従業者数の推移

	昭和61年度		平成3年度		平成8年度		平成13年度	
	事業所数	従業者数(人)	事業所数	従業者数(人)	事業所数	従業者数(人)	事業所数	従業者数(人)
総数	524	3,784	596	4,834	842	7,083	862	7,126
第1次産業	—	—	2	44	2	32	1	19
農林水産業	—	—	2	44	2	32	1	19
第2次産業	121	1,475	129	1,511	221	2,330	215	2,192
鉱業	—	—	1	7	1	8	2	21
建設業	75	663	74	668	129	939	118	781
製造業	46	812	54	836	91	1,383	95	1,390
第3次産業	403	2,309	465	3,279	619	4,721	646	4,915
卸・小売業	256	1,128	255	1,267	334	2,037	337	2,086
金融・保険業	9	83	6	55	7	40	9	52
不動産業	12	43	19	52	21	49	23	54
運輸・通信業	9	156	13	314	28	552	31	554
電気・ガス・水道業	—	—	1	5	1	5	2	6
サービス業	117	899	165	1,393	222	1,844	237	1,928
公務(他に分類されないもの)	—	—	6	193	6	194	7	235

資料：事業所統計調査

## ■農家の人口

各年2月1日現在

年度	区分 農家数 (戸)	兼業農家内訳(戸)			農家数 35年=100 (戸)	農家人口(人)			農業就業人口(人)			自家農業だけ従業者(人)			1戸当りの 農家人口 (人)
		総数	兼業が主	兼業が主		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
昭和60年度	582	490	121	369	64	2,681	1,264	1,417	1,512	763	749	846	280	566	5
平成2年度	446	357	73	284	49	2,036	963	1,073	1,722	804	918	712	266	446	5
平成7年度	426	322	82	240	47	1,836	872	964	1,571	737	834	712	277	435	4
平成12年度	411	322	80	242	45	1,661	785	876	1,189	558	631	581	238	343	4

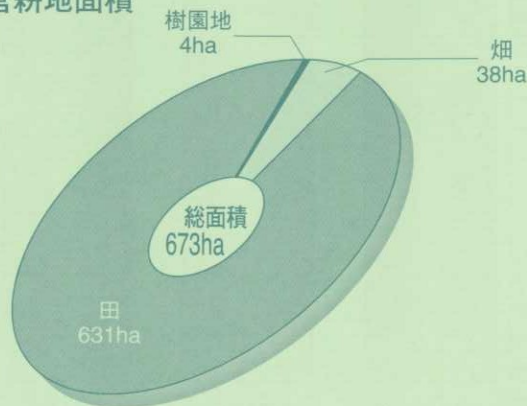
資料：農林業センサス

## ■経営耕地規模別農家数

年度	区分 総数	耕地面積(a)				経営規模別農家数(戸)							
		田	畑	樹園地	総数	0.3ha未満	0.3ha~0.5ha	0.5ha~1.0ha	1.0ha~1.5ha	1.5ha~2.0ha	2.0ha~3.0ha	3.0ha以上	
昭和60年度	74,621	67,922	6,278	421	582	131	63	126	72	57	81	52	
平成2年度	70,890	65,154	5,431	305	446	56	40	98	67	53	76	56	
平成7年度	70,304	64,025	5,944	335	426	78	38	82	71	32	55	70	
平成12年度	67,359	63,092	3,797	470	411	90	35	80	56	38	52	60	

資料：農林業センサス

## ■経営耕地面積



資料：農林業センサス

## ■経営耕地面積規模別農家数



資料：農林業センサス

# 産業

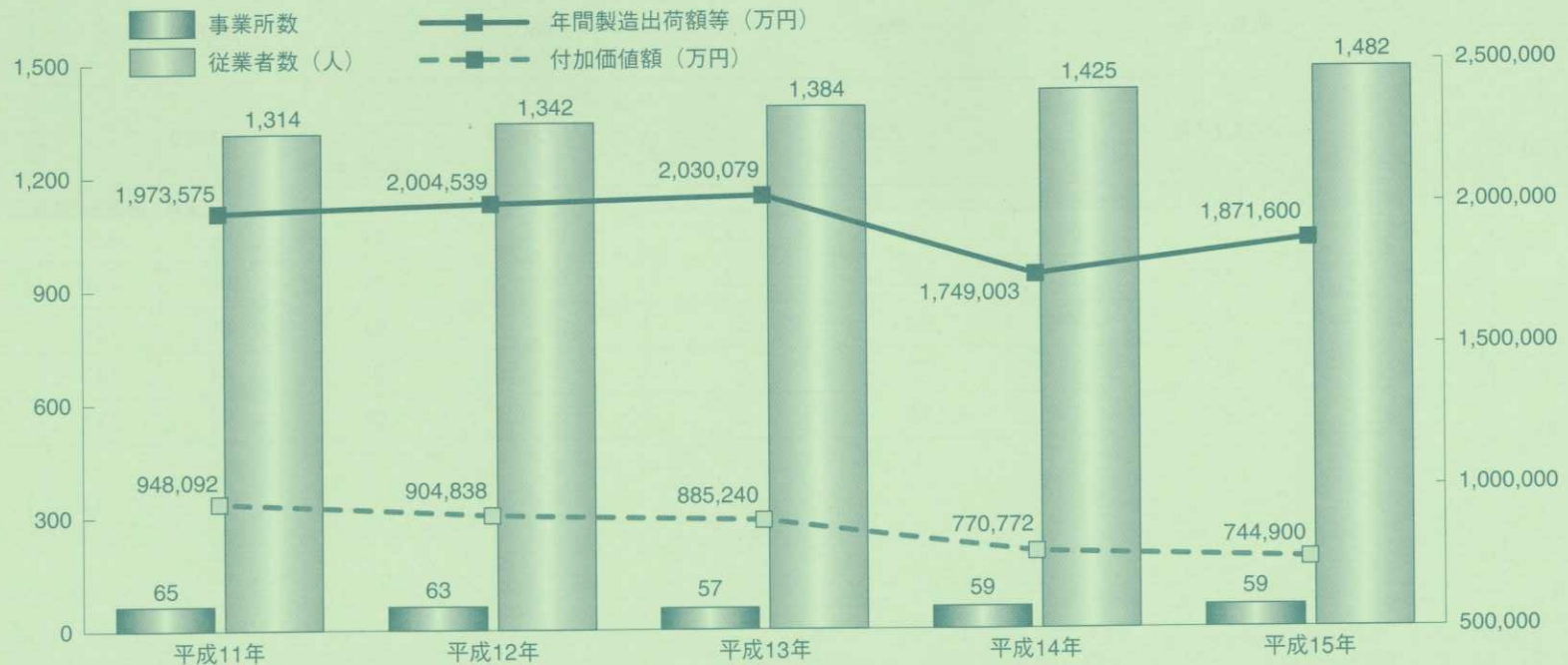
## 産業別製造工場の推移

	総数	食料品	飲料・ たばこ・ 飼料	衣服・ その他 繊維製品	木材・ 木製品	家具・ 装備品	化学工 業製品	プラスチ ック製品	ゴム製 品	窯業・ 土石製品	非鉄金 属	金属製 品	一般機 械器具	電気機 械器具	情報通信 機械器具	輸送機 械器具	精密機 械器具	その他
平成10年	64	5	1	1	1	3	1	3	—	7	—	14	16	7	—	1	1	3
平成11年	65	6	—	2	1	4	1	3	—	7	—	14	16	6	—	—	2	3
平成12年	63	4	—	—	1	4	1	1	1	7	—	17	17	6	—	—	1	3
平成13年	57	4	—	—	2	4	1	2	—	6	1	13	13	7	—	—	1	3
平成14年	59	4	—	—	1	4	1	2	—	7	—	13	13	7	1	1	1	4

資料：工業統計調査

## 事業所数・従業者数・年間製造品出荷額

※平成15年分は速報値による



資料：工業統計調査

## ■商業の推移

	卸・小売業		
	商店数(店)	従業員数(人)	年間販売額(百万円)
昭和63年	182	833	16,206
平成3年	194	860	21,149
平成9年	242	1,450	30,819
平成14年	225	1,628	30,829

資料：商業統計調査

## ■道路状況

平成16年3月現在

	延長(m)	面積(m <sup>2</sup> )	路線数
町道	185,875	1,007,177	590

## ■町道の現況

平成16年3月現在

	総延長(m)	改良済延長(m)	路線数	舗装率(%)
総数	185,785	131,409	590	83.1
一級町道	18,918	18,286	9	99.7
二級町道	11,017	10,358	10	99.7
その他の町道	155,940	102,765	571	79.8

## ■町営等住宅の現況

	種別									
	総数	町営住宅				改良住宅				
		総数	構造別内訳				総数	構造別内訳		
			木造平屋	簡易平屋	鉄筋コンクリート 3階建	鉄筋コンクリート 4階建		簡易耐火平屋	簡易耐火2階建	鉄筋コンクリート 3階建
平成11年	159	74	10	20	12	32	85	21	28	36
平成12年	161	74	10	20	12	32	87	23	28	36
平成13年	161	74	10	20	12	32	87	23	28	36
平成14年	161	74	10	20	12	32	87	23	28	36
平成15年	171	74	10	20	12	32	97	30	31	36

## ■用途別給水量

各年3月31日現在 (単位: m<sup>3</sup>)

区分 年度	総数	家事用	学校用	官公署
平成11年度	1,980,910	1,894,495	31,652	54,763
平成12年度	2,019,728	1,933,307	31,319	55,102
平成13年度	2,030,579	1,949,800	28,752	52,027
平成14年度	2,036,543	1,955,687	28,424	52,432
平成15年度	1,989,439	1,911,445	26,215	51,779

## ■水道の普及状況

各年3月31日現在

区分 年度	給水区域内 の人口 (A) (人)	配 水						有収率 (%)	供給単価 (円)	給水原価 (円)
		給水人口(B) (人)	普及率B/A (%)	年間配水量 (千m <sup>3</sup> )	1日平均 配水量 (m <sup>3</sup> )	1日1人平均 配水量 (ℓ)	給水戸数 (戸)			
平成11年度	19,821	19,722	99.5	2,228	6,105	3.10	6,427	85.0	156	156
平成12年度	19,726	19,627	99.5	2,267	6,210	3.16	6,521	89.1	157	155
平成13年度	19,608	19,510	99.5	2,276	6,237	3.20	6,580	89.2	157	157
平成14年度	19,676	19,578	99.5	2,281	6,248	3.19	6,689	89.3	157	164
平成15年度	19,790	19,691	99.5	2,225	6,097	3.10	6,797	89.4	155	162

## ■公共下水道整備状況

区分 年度	処理区域面積 (ha)	処理区域内人口 (人)	水洗化人口 (人)	水洗化率 (%)	処理水量 (千m <sup>3</sup> )
平成15年度	94.5	4,322	1,910	44.2	107

資料: 下水道課

## ■ごみ収集状況

(単位：トン)

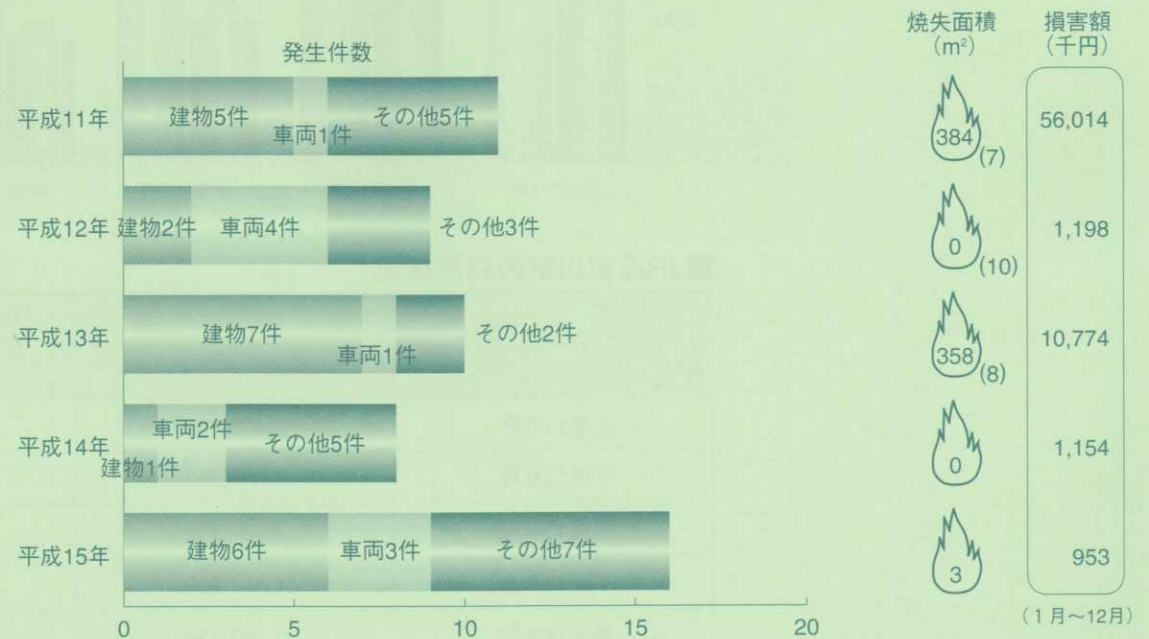
年度	可燃ごみ		不燃ごみ		資源ごみ		粗大ごみ
	年間収集量	増減	年間収集量	増減	年間収集量	増減	年間収集量
平成11年度	4,970	—	224	—	267	—	100
平成12年度	5,166	196	239	15	255	-12	148
平成13年度	5,348	182	314	75	187	-68	63
平成14年度	5,389	41	342	28	164	-23	84
平成15年度	5,555	166	256	-86	216	52	78

## ■し尿処理状況

(単位：kl)

年度	収集人口	収集量
平成11年度	7,215	8,614
平成12年度	6,835	8,425
平成13年度	6,689	8,260
平成14年度	6,482	8,195
平成15年度	6,193	7,973

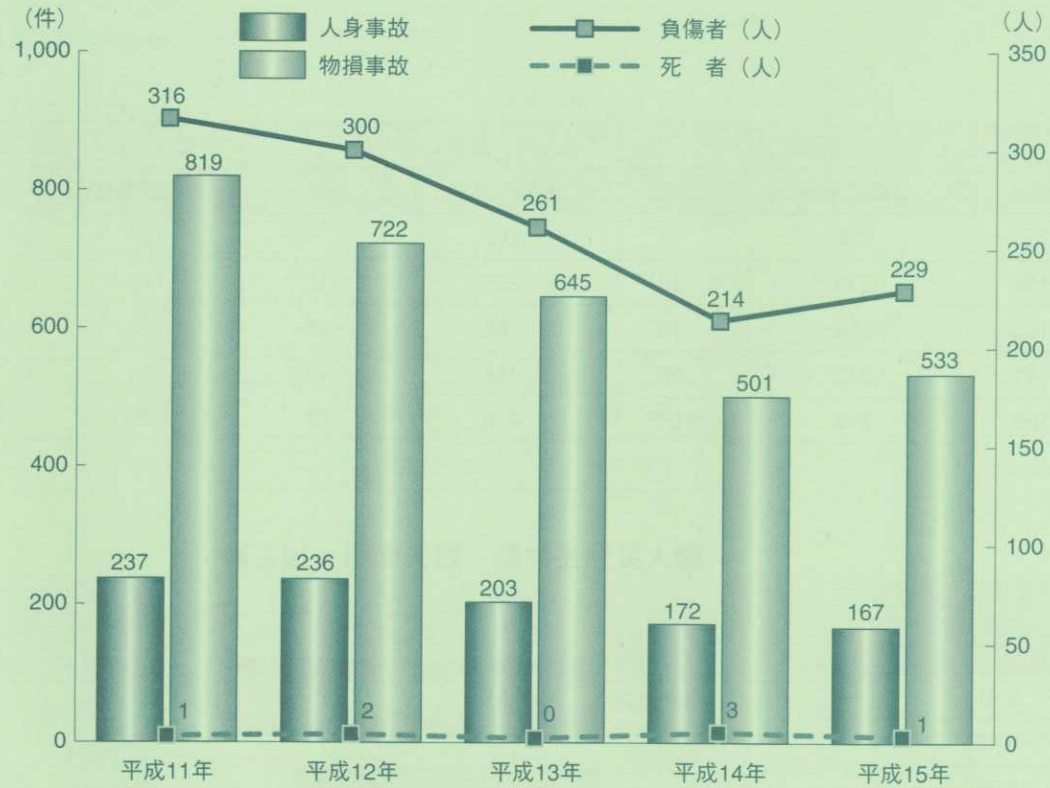
## ■火災発生件数・焼失面積・損害額



注：( )内は表面積  
資料：遠賀郡消防署



## ■交通事故発生状況



資料：折尾警察署

## ■JR遠賀川駅の利用状況

年度	区分	乗客	
		乗客数 (人)	一日平均 (人)
平成11年度		1,479,637	4,054
平成12年度		1,411,803	3,857
平成13年度		1,387,112	3,800
平成14年度		1,301,939	3,567
平成15年度		1,247,129	3,417

資料：遠賀川駅

## ■保育園の状況

平成16年4月1日現在

	定員数(人)	入所者数(人)			職員数(人)
		総数	男	女	
遠賀川保育園	90	69	30	39	16
南部保育園	120	120	57	63	29
山びこ保育園	90	102	55	47	29

## ■生活保護法による保護状況

各年4月1日現在

年度	区分	世帯数(戸)	人員(人)	総額(千円)
平成11年度		124	180	118,614
平成12年度		121	168	112,130
平成13年度		118	171	116,249
平成14年度		126	185	143,165
平成15年度		142	236	152,442

### ■国民健康保険給付状況と決算の推移

年度	区分 年間平均 加入世帯	年間平均 被保険者 数	受診件数	費用額 (千円)	費用額			収入(千円)				支出(千円)				
					1件当り	1人当り	1世帯当り	総額	保険税	国庫補助	その他	総額	給付金	老人保険 拠出金	保健 施設費	その他
平成11年度	2,848	5,807	87,009	2,418,354	27,794	416,455	849,141	1,297,594	408,566	470,920	418,108	1,214,300	770,349	388,624	12,123	43,204
平成12年度	2,972	6,014	95,652	2,429,334	25,398	403,946	817,407	1,337,427	436,631	468,553	432,243	1,267,575	806,451	369,736	4,425	86,963
平成13年度	3,119	6,314	101,809	2,595,653	25,495	411,095	832,207	1,428,628	457,317	512,345	458,966	1,381,164	863,367	409,521	4,759	103,517
平成14年度	3,250	6,602	105,930	2,587,309	24,425	391,898	796,095	1,419,629	482,081	498,279	439,269	1,402,007	794,891	474,466	6,676	125,974
平成15年度	3,381	6,833	117,859	2,849,697	24,179	417,049	842,856	1,535,633	483,902	505,847	545,884	1,550,855	963,630	454,686	4,744	127,795

### ■病院と診療所の状況

	病 院		診 療 所							
	総 合	内科外科	内科小児科	外 科	整形外科	脳神経外科	眼 科	耳鼻科	皮膚科	歯 科
平成11年度	—	3	4	2	1	1	2	1	1	10
平成12年度	—	3	4	2	1	1	2	1	1	10
平成13年度	—	3	4	2	1	1	2	1	1	10
平成14年度	—	3	4	2	1	1	2	1	1	10
平成15年度	—	3	4	2	1	1	2	1	1	10

## ■介護保険料

(単位：円)

	1号被保険者	2号被保険者	総計
	収納額	交付金	収納・交付額
平成12年度	29,810,811	215,669,266	245,480,077
平成13年度	92,267,971	257,396,297	349,664,268
平成14年度	128,085,965	289,100,014	417,185,979
平成15年度	183,110,589	284,947,028	468,057,617

## ■介護給付費

(単位：円)

	居宅サービス	施設サービス	居宅サービス計画	償還払い等	その他	総計
平成12年度	167,990,407	459,345,290	16,639,900	9,567,634	588,875	654,132,106
平成13年度	218,599,463	518,796,416	22,405,400	20,187,500	951,301	780,940,080
平成14年度	307,237,236	521,196,793	28,662,500	18,964,120	1,037,295	877,097,944
平成15年度	321,406,846	513,419,143	34,824,407	20,809,067	647,564	891,107,027

### ■幼稚園・小学校・中学校児童生徒数、学級数、教員数

平成16年5月1日現在

項目 学校名		児童生徒数(人)			学級数	教員数(人)		
		男	女	総数		男	女	総数
小学校	浅木	168	137	305	10	6	12	18
	島門	232	251	483	17	11	12	23
	広渡	114	118	232	8	6	9	15
	計	514	506	1,020	35	23	33	56
中学校	遠賀	222	204	426	12	16	13	29
	遠賀南	103	98	201	7	10	8	18
	計	325	302	627	19	26	21	47

### ■図書館の利用状況

各年度末現在

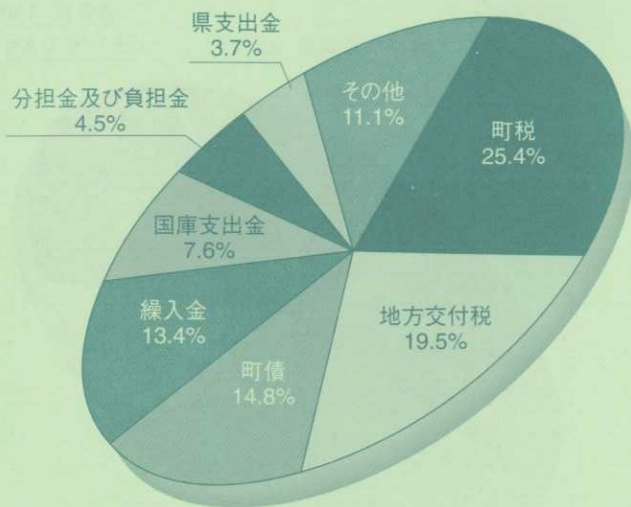
項目		平成13年度	平成14年度	平成15年度
来館者数		105,443	138,530	148,649
貸出冊数		156,629	224,922	249,841
登録者数		9,330	11,634	13,236
開館日数		220	285	287
蔵書冊数	図書	48,998	59,926	68,326
	A V	3,357	3,638	3,765

\*AVは視聴覚資料(ビデオテープ、カセット、CD等)

資料：遠賀町立図書館

# 財政

■歳入決算構成比



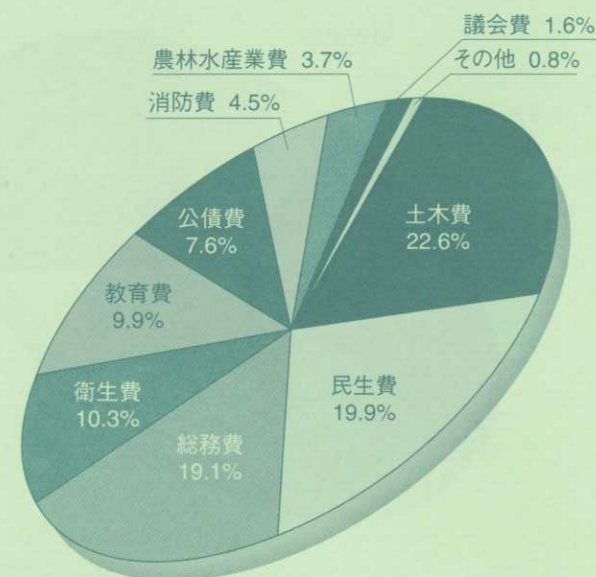
■歳入決算額の状況

区 分	平成14年度		平成15年度		増 減	
	決算額(千円)	構成比	決算額(千円)	構成比	増減額(千円)	構成比
町 税	1,922,636	30.4%	1,781,266	25.4%	-141,370	-20.5%
地 方 譲 与 税	88,682	1.4%	86,234	1.2%	-2,448	-0.4%
利 子 割 交 付 金	26,181	0.4%	18,150	0.2%	-8,031	-1.2%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	30,108	0.5%	25,359	0.4%	-4,749	-0.7%
地 方 消 費 税 交 付 金	141,324	2.2%	159,736	2.3%	18,412	2.7%
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自 動 車 取 得 税 交 付 金	52,898	0.8%	50,767	0.7%	-2,131	-0.3%
地 方 特 例 交 付 金	69,320	1.1%	67,507	1.0%	-1,813	-0.3%
地 方 交 付 税	1,664,632	26.3%	1,364,197	19.5%	-300,435	-43.6%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,135	0.1%	4,019	0.1%	-116	0.0%
分 担 金 及 び 負 担 金	192,412	3.1%	314,840	4.5%	122,428	17.8%
使 用 料 及 び 手 数 料	183,310	2.9%	172,590	2.5%	-10,720	-1.6%
国 庫 支 出 金	328,973	5.2%	530,351	7.6%	201,378	29.2%
県 支 出 金	259,942	4.1%	263,124	3.7%	3,182	0.5%
財 産 収 入	111,183	1.8%	7,285	0.1%	-103,898	-15.1%
寄 付 金	370	0.0%	40,100	0.6%	39,730	5.8%
繰 入 金	568,040	9.0%	936,647	13.4%	368,607	53.5%
繰 越 金	102,227	1.6%	95,027	1.3%	-7,200	-1.0%
諸 収 入	122,728	1.9%	52,469	0.7%	-70,259	-10.2%
町 債	451,700	7.2%	1,040,700	14.8%	589,000	85.4%
歳 入 合 計	6,320,801	100.0%	7,010,368	100.0%	689,567	100.0%

## ■目的別歳出決算額の状況

区 分	平成14年度		平成15年度		増 減	
	決算額(千円)	構成比	決算額(千円)	構成比	増減額(千円)	構成比
議 会 費	111,893	1.8%	109,679	1.6%	-2,214	-0.3%
総 務 費	1,191,952	19.2%	1,317,488	19.1%	125,536	18.9%
民 生 費	1,290,621	20.7%	1,373,126	19.9%	82,505	12.4%
衛 生 費	602,279	9.7%	709,038	10.3%	106,759	16.1%
労 働 費	988	0.0%	999	0.0%	11	0.0%
農 林 水 産 業 費	257,874	4.1%	254,652	3.7%	-3,222	-0.5%
商 工 費	96,059	1.5%	15,080	0.2%	-80,979	-12.2%
土 木 費	989,305	15.9%	1,552,769	22.6%	563,464	84.8%
消 防 費	291,986	4.7%	309,771	4.5%	17,785	2.7%
教 育 費	804,986	12.9%	680,647	9.9%	-124,339	-18.7%
災 害 復 旧 費	1,124	0.0%	2,300	0.0%	1,176	0.2%
公 債 費	495,220	8.0%	523,779	7.6%	28,559	4.3%
諸 支 出 金	91,487	1.5%	40,744	0.6%	-50,743	-7.7%
合 計	6,225,774	100.0%	6,890,072	100.0%	664,298	100.0%

## ■目的別歳出決算構成比



## ■町税の状況

区 分	平成14年度		平成15年度		増 減	
	決算額(千円)	構成比	決算額(千円)	構成比	増減額(千円)	構成比
町 民 税	759,673	39.5%	728,664	40.9%	-31,009	21.9%
個 人 均 等 割	14,237	0.7%	14,320	0.8%	83	-0.1%
所 得 割	638,837	33.2%	611,016	34.3%	-27,821	19.7%
法 人 均 等 割	39,269	2.1%	39,936	2.2%	667	-0.5%
法 人 税 割	67,330	3.5%	63,392	3.6%	-3,938	2.8%
固 定 資 産 税	877,258	45.6%	898,132	50.4%	20,874	-14.8%
軽 自 動 車 税	30,804	1.6%	32,444	1.8%	1,640	-1.1%
町 た ば こ 税	116,134	6.1%	122,026	6.9%	5,892	-4.2%
特 別 土 地 保 有 税	138,767	7.2%	0	0.0%	-138,767	98.2%
合 計	1,922,636	100.0%	1,781,266	100.0%	-141,370	100.0%

## ■歴代の町長・助役・収入役・歴代の正・副議長

(※昭和39年4月1日町制施行以降)

	歴代町長	歴代助役	歴代収入役	歴代議長	歴代副議長
1	小川 登一郎 (昭和38年5月1日)	有吉 寿 (昭和38年10月1日)	小川 泰 (昭和35年5月7日)	柴田 貫蔵 (昭和38年5月10日)	有吉 茂也 (昭和38年12月11日)
2	小川 登一郎 (昭和42年5月1日)	小川 泰 (昭和42年10月10日)	小川 泰 (昭和39年5月7日)	中山 包久 (昭和42年5月11日)	重広 新 (昭和42年5月11日)
3	柴田 貫蔵 (昭和46年4月25日)	柴田 武門 (昭和47年10月3日)	太田 悟 (昭和42年10月10日)	中山 包久 (昭和46年5月4日)	高崎 重徳 (昭和46年4月20日)
4	柴田 貫蔵 (昭和50年4月27日)	柴田 武門 (昭和51年10月3日)	山本 豊 (昭和46年10月21日)	高崎 重徳 (昭和48年4月20日)	柴田 涼 (昭和48年4月20日)
5	柴田 貫蔵 (昭和54年4月27日)	柴田 武門 (昭和55年10月3日)	三砂 貞利 (昭和51年3月26日)	中山 包久 (昭和50年5月8日)	木野 國繁 (昭和50年5月8日)
6	柴田 貫蔵 (昭和58年4月27日)	柴田 武門 (昭和59年10月3日)	石橋 清美 (昭和55年3月27日)	中山 包久 (昭和54年5月4日)	井口 時彦 (昭和54年5月4日)
7	高山 和幸 (昭和62年4月27日)	仲野 丈 (昭和62年11月13日)	石橋 清美 (昭和59年3月27日)	井口 時彦 (昭和56年5月22日)	秦 玉彦 (昭和56年5月22日)
8	高山 和幸 (平成3年4月27日)	仲野 丈 (平成3年11月13日)	室井 百人 (昭和62年8月1日)	井口 時彦 (昭和58年5月10日)	秦 玉彦 (昭和58年5月10日)
9	高山 和幸 (平成7年4月27日)	縄手 靖司 (平成7年7月7日)	縄手 靖司 (平成3年8月1日)	秦 玉彦 (昭和62年5月7日)	柴田 征一郎 (昭和62年5月7日)
10	高山 和幸 (平成11年4月27日)	添田 正豊 (平成11年7月7日)	太田 善胤 (平成7年7月7日)	秦 玉彦 (平成3年5月8日)	柴田 征一郎 (平成3年5月8日)
11	木村 隆治 (平成15年4月27日)	原田 正武 (平成15年7月7日)	泉原 敏行 (平成11年7月7日)	柴田 征一郎 (平成7年5月9日)	添田 年孝 (平成7年5月9日)
12			高 敏昭 (平成15年7月7日)	柴田 征一郎 (平成11年5月7日)	仲野 和義 (平成11年5月7日)
13				仲野 和義 (平成15年5月7日)	石松 守 (平成15年5月7日)



■遠賀町行政機構図 (平成16年4月1日現在)

